

幼児の教育

第四十九卷

第十號



十月號

日本幼稚園協會

保 育 關 係 者 必 讀 の 二 名 著

東京教育大學教育學研究室編「教育大學講座第九卷」(分頁自由) 幼 稚 園 教 育

A5判 上製
美裝・函入
定價三五〇圓

取り残された幼稚園教育についての新時代に適合しい理論の探究は本書により初めて成就された。保育實踐上の權威ある指導書。

一内容一
幼稚園教育の
幼稚園のカリキュラム
幼稚園の運営
遊戯と構成活動

奈良女子大學教授附屬幼稚園主事
東京教育大學教授
山梨大學助教授附屬幼稚園主事
東京教育大學附屬小學校教諭

小川正
梅根悟通
石中根
上熊次郎
秀大雄

愛 育 研 究 所 編 (兒童研究叢書 第二卷)
牛島義友 森脇要 木田市治 入澤壽夫共著

(分頁自由)

乳 幼 兒 精 神 發 達 檢 査

A5判 上製
美裝・函入
口實寫眞
價四八〇圓

愛育研究所で苦心完成された唯一の幼児の精神検査法、新時代が幼き者に期待する時本書は新しい教育者保育者心ある家庭人の必ず參與すべき關門であらねばならぬ。

容 一 第一篇 乳幼児検査法
二 第二篇 乳幼児検査法の根據
三 第三篇 乳幼児簡易検査
附 乳幼児検査票・乳幼児簡易検査票

附屬
乳 幼 兒 簡 易 檢 査 用 紙 一 枚 につ ぎ 價 一 圓 五 十 錢
乳 幼 兒 簡 易 檢 査 用 具 美 裝 ・ 箱 入 價 五 〇 〇 圓

東京都(小石川局區內)
文京區大塚坂下町一五五

金 子 書 房

振替 東京 103376 番
電話 大塚 (86) 2080



朝の心

倉橋惣三

朝の心ではない。

子供にもいろ／＼あり、ききよう、かるかや、おみなえし秋の色草の心調は必ずしも一つでないが、おのがじ／＼咲く銘々の美しさと、野を彩に織るとり／＼の美しさとは、型にも入れられず、雑然と亂れてもいない自然の美しさである。各自が快く満足している美しさである。互が、色を添えあつている美しさである。その中に、われらも、自然の美しさに立つていなければならぬ。自然の美しさに入りまぢつていなければならぬ。自然の野に場はずれの景色はない。あれば氣まぐれか小さかしさの人爲人造である。目ざわりになること甚しい。

園は廣野の自然ではないが、草々は自然のまゝに培われ咲かせられなくてはならぬ。眞にすぐれた園丁は、野のありのままを園に取り入れ、狭い園に野の風情を生かす。殊に、日がまだ強く照らず、土がまたかさ／＼に干かぬ朝の一時ににおいて。

垣で圍いした園を、終日しつとりした野の自然におくことはむづかしい。それは最も望ましいことだが望まれぬことか

すが／＼しい朝の心で子供らに會おう。幼い人達の心も、朝はさわやかな中にも靜かである。露を含む草の葉のようにさえ／＼しながら、しつとりと落つている。その落ちつきを亂してはならぬ。平和の眠りから覺めたばかりの野の草に、朝の風がそつと撫でてゆくように、朝の細い光がやわらかくほ／＼えむように、この靜かな一時の心を忘れてはならぬ。眠り足らぬもたえや、朝つばらからのいら／＼した不機嫌で、子供の朝の心を害うことが、われらに、稀れでない。かと思ふと、似而非快活の興奮的はしやぎや、自らに強いるから元氣の騒々しさで、子供の朝の心をかき散らすことも、われらに、屢々ある。更に因習と墮性による形式的齊整で、子供の心を鈍らせ、生氣を抑えることも、われらに、極めて多い通弊である。

朝からためいきをついている老いた先生がある。朝から浮かれきつてゐる若い先生がいる。心の籠らない會集ということや、心のうわづつた自由保育が、そういう人々によつて子供に與えられる。與えられるというよりも押しつけられたりせん動されたりする。いづれにしても、子供がひたつてゐる

もしれない。なかには萎れる草もある。うなだれる小さい花もある。園丁はかんがいに意を用いなければならぬが、それだつて、バケツで水をおつかける園丁はあるまい。せん風機で風を吹きつける園丁はあるまい。工夫といつても、上手なカリキニラムで子供らを倦ませぬ位のことであらう。巧みな指導で引き立て、ゆくだけのことであらう。それも確に園丁の大切な仕事であるが、朝の一時時は、カリキニラム以前の自然である。方法以外の自然である。園丁が腕前よりも心、それもすなをな自然の心で、子供らのうい／＼しい自然の心に順うべき時である。自分と子供とが、自然で自然に觸れあえる時である。

このために、われらは、子供に會う前の朝の心を大切に護らなくてはなるまい。自ら心するのは常のことであり、子供らの中に忙しい時は、一層その必要があるでもあらう。いくら自然といつて、かんしやくのまゝの自然やヒステリーの自然は、子供に迷惑千萬である。そういうことにならんとも限らぬ晝の心の自然は、護るといふよりは抑ゆべきことに屬する。朝の心如何は、子供の中で疲れた後の心でなく、わが心一つの持ちようである。しかも、先生という人も浮世に生きている。煩雑な境遇に動かされる。不満もあらう、憤慨もあらう。憂慮もあらう、悲嘆もあらう。若い人には人生そのもの、懷疑に陥ることもあらう。失戀といつたことに打ちひしがれることもないではあるまい。そんな時々、自分の心を自分で護るためには、一應強固な、不斷の修養を要することであ

ある。希わくは、そういうことで、子供の友の心が亂されることのないように祈るけれども、せめては、子供に會う前の朝の心を護りたい。自己修養というよりも、心掛けというべきことである。朝々の勤行によるまでもなくとも、よく顔を洗う必要がある。出勤前にあわてぬこともだいじであらう。都會の交通機関は心まで雑とらさせられるが、田舎の畔道通いの人は羨ましい。わけても一番大切なことは、出がけや途中で、人と争わぬことである。争氣闘心ほど朝の心を傷けるものはない。特に毎日の朝の心を破るものは、同僚との和を缺くことである。悲嘆は怒りにくらべて、ものやさしげにいづれ已み難い譚あつてのことであらうが、靜かではあるが雲のかゝる朝の日は鬱陶しい。涙をかくして笑顔をするというのも、名優の苦心らしく芝居がゝる。俳優でも花道へ出る前に一切の雑念を忘れなくては、眞に舞臺の人になれぬといふ。先生も餘念他心があつては、子供と共に朝の人になれまい。それは必ずしも、容易でないことゝしても、子供に會う迄のその日／＼の心掛けである。聖名を唱えてゝも、職分を考えてゝも、必ず心を淨うしてこの心掛けに徹しなければならぬ。——そのあとは、いゝことに、子供達がその心を助けてくれる。救つてもくれるのである。たゞ、この大切な朝の一時時の心掛けを怠る者は、終日遂に救われないかも知れない。

秋のさわやかな朝である。すが／＼しい心で子供らに會お



4 きたない犬ラッグス

小さな馬車がとまつて、毛むくじやらのぼろ（ラッグス）のような子犬が、道に投げ出されました。飼い主のおじさんが、ぶんぶんおこつていました。

「もう、あのスリツパが、かじりじまいだよ。」こう言つて、急いで歸つてしまいました。

ラッグスは悲しそうに道ばたで、馬車の見えなくなるのを見送つていました。

「そうかしら。でも、おじさんは戸だなの中に、いつばいスリツパを持つているんだよ。——ぼく、いけないことをしたのかなあ？」と、ラッグスは考えました。

その道は廣くて、なんにも眼につくものがありませんでした。ラッグスはこわくなりました。子犬はなにができません。ラッグスは、どこかにお家を見つけないければなりません。

こう思うと、ラッグスは急におとなになつたような気がしました。もう、スリツパなどはかじらないにしようと思つて、歩道によじあがりましました。するといつの間にか、悲しさが消えていきました。

「きつと、よいお家を見つけるぞ。」ラッグスは、一軒一軒お家を見ながら、歩道を歩きました。あるお家の前の芝生で、おばさんがお花に水をかけていました。ラッグスは、ていねいに寄つて行つて、

「わん、わん。」と尾をふりました。

すると、そのおばさんは振りかえつて、

「まあ、きたない、ぼろみたいな犬。お家の芝から、はなれてちようだい。」と言いました。そして、さんぶと水をかきました。

ラッグスは、逃げ出しました。びしょぬれになつて、よろよろしながら、道を歩きました。疲れて、もう走る事ができなかつたのです。

しばらく行くと、一人のおじいさんが、きれいなお家の玄関のところで、ゆりいすに掛けていました。このおじいさんなら、お家においてくれるだろうと思ひました。そつとはいあがつて、尾をふりました。

おじいさんは眼鏡めがねごしに見て、

「よし、よし。」と言ひました。

ラッグスは、顔をあげて、

「わん、わん。」と言ひました。これは、犬の言葉で「お宿やどがほしいのです。」と言うのでした。

ラッグスは、おじいさんのいすの腕うで木の上に、猫がいるのに気がつきませんでした。猫はラッグスを見ると、背中をまるくして、顔を目がけてとびかかりました。

「ぎあーつ。」と、猫はなきました。その爪つめはするどくて、痛いのです。「ここは、わたしのお家よ。あつちへおいで」と言つたのでしよう。

「きやん、きやん、きやん。」とラッグスは泣きながら、逃げ出しました。どんどん走りましました。そしてきたところは前よりも小さなお家が、ぼつんぼつんと建つてるところでした。そのあき地に、箱がいくつもありました。ラッグスは、その一つにもぐりこんで眠つてしまいました。

この箱は、ゲリー君という少年が、一生懸命に作つたおもちゃのお家でした。その一すみに、疲れたラッグスが、ぐつぐつと寝こんだのです。

「おや、子犬がいるよ。」と、ゲリー君が言ひました。

ラッグスは、その聲に眼をさまして、

「わん、わん。」と言ひました。ゲリー君は、その意味がわかつて、

「お前、ぼくといつしよにいたいのだね。そうだろう？」とたずねました。

ラッグスは、「わん、わん。」と答へました。「そうです、そうです。」と言うのでした。

ゲリー君は、ラッグスをだきました。

「ずいぶんぼろぼろで、きたないんだな。ぼろみたいだからラッグス（ぼろ）という名がいいよ。」と、少年は言いました。

そこで、ラッグスは「わん」と言ひました。これは「ぼく、賛成。」というのです。

「おばあさん、おばあさん、すばらしいことが、おこりましたよ。ラッグスが、ぼくたちといつしよに暮すんですつて。」こう言いながら、ゲリー君は、うれしさのあまり、お臺所^{だいどころ}にかけこみました。

おばあさんは、皮をむいていたおいもを、思はず落しました。おいもは、ころがりました。「おや、まあ。どこで見つけたの？」

「ぼくのおもちやのお家で。」

「わたし、こんなきたない犬は、見たことがありませんよ。」

「でも、利口ですよ。おばあさん、あんなに尾をふつてゐる。」

ほんとうにラッグスは、尾をふつていました。しきりにふつていました。その中にラッグスは、よいことを思ひつきました。かけて行つて、おいもをくわえて、おばあさんのところへ持つて行きました。

「おばあさん、ごらん。お手傳い^{てんい}をしますよ。」と、ゲリー君が大きな聲で言ひました。

ラッグスは、じつと立つていました。その茶色の眼は、お願いするように、じつとおばあさんの顔にむけられています。

おばあさんは、ラッグスを追いかえすことができなくなりました。でも、やつとのことで作る自分たちの食事を、へらすことはできません。まい子の犬を養うことは、とてもできないと思つたのでした。

「あしたまで、ここにおいでやりましょう。あしたになつたら、どこかへやらなければなりませんよ。」おばあさんがこういいました。

それでもラッグスは幸福でした。おばあさんは、ミルクをくれたのです。「ありがとう」の代りに、「わん、わん。」と言つて、ラッグスは、うれしそうにそれを飲みました。

夜になりました。おばあさんは、お臺所の床の上に、古い枕をおきました。ラッグスは、まるまつて眠りました。おばあさんとゲリー君も眠りました。

不意にラッグスが、眼をさました。くんくん、鼻をならしています。なんだか妙なおい、がするのです。ばちばち、音がします。煙突に近い壁のところ、あかるくなっています。これはいけない。「わん、わん、わん。」と、ラッグスははげしくほえました。

おばあさんがとび起きて、臺所にかけてけました。ストーヴに残しておいた火が、外にこぼれたのでした。すぐに消しとめました。ほつておけば、火事になるところでしたね。おばあさんは、きたない子犬をだきあげて、「お前は、お家を救つたのだよ。もうすつと、わたしたちといつしよにいておくれ。」と、やさしくいきました。

おばあさんは、自分のベッドにもどりませんでした。ラッグスを膝の上にのせて、臺所の窓のそばに腰をおろしました。もう、夜明けなのでした。おばあさんは、雲の色がピンクから金色にかわるのを見ていました。お家が無事であつたことを、とてもうれしく思つたのでした。

しばらくすると、ゲリー君が起きました。ラッグスも起き出しました。おばあさんは、ゲリー君に夜のできごととラッグスが勇敢であつたことを、ゲリー君にお話ししました。

「そういうわけで、この犬を追いだすことはできませんよ。どうして食べさせたらよいのか、わたしにはわからないけれど。」

ゲリー君には、一つの考えがうかびました。

「ラッグス、おいで。散歩をしよう。」

ラッグスは、ゲリー君といつしよにとび出しました。ふたりは、肉やさんがちようどお店を開いたばかりのマーケットへ行つたのです。

「なにかお仕事はありませんか？ ほく、ほくの犬にやるお肉をかせきたいのですけれど。」

肉やさんは、ゲリー君のまじめな顔を見て、につこり笑いました。

「よろしい。君は毎朝、お店を掃除しておくれ。」

ゲリー君は喜んでお店を早速きれいに掃除しました。すると肉やのおじさんは、肉をいくらか包んで、ゲリー君にわたしました。

「それから、ダイム（アメリカのお金。一ドルの十分の一、十セント銀貨のことです。）を一枚あげよう。よく働いて

くれましたね。」

「ありがとう、おじさん。」お禮をいうゲリー君は、あまりのうれしさに、聲がよくでません。

飛ぶようにして歸つてきたゲリー君は、やさしい肉やおじさんのことを、おばあさんに細かに報告して、

「ぼく、毎朝、働けるんですよ。」と、言いました。

ラッグスは、うれしそうに新しいお家の中を、かぎまわりました——おいすのまわりを、カーテンの下を。寢室には、一足のスリッパがありました。ラッグスはそれをくわえて、お臺所へ持つて行つて、おばあさんの足のところにおきました。そして二度とスリッパは、かじろうとしませんでした。(ミナーヴァ・マクソン女史の作による)

第四回 關西連合 保育會 研究協議會

一、プログラム

日時 昭和二十五年十月二十一日(土曜日)

九時集合 九時半開會 受付登録(八時より開始)

會場 名古屋市榮小學校 名古屋市中區中ノ町
道順 市電南園町停留場下車約五分

大會順序

一 開會式 (九、三〇—一〇、一〇)

3 1 祝奏 辭榮 4 2 挨拶 彰 摺

二 議事 (一〇、一〇—一〇、四〇)

3 1 報 告 2 會則變更の件
建 議 案

休憩 (一〇分)

三 研究發表

畫 食 (一〇、五〇—一一、一〇)

四 分團研究協議 (一一、一〇—一一、三〇)

3 1 保育理論 2 保育の實際
組織經營

休憩 (二〇分)

五 實踐計畫の報告 (一一、三〇—一一、五〇)

六 分團報告 (一一、五〇—一二、一〇)

七 閉會式 (一二、一〇—一二、三〇)

3 1 閉會の挨拶 2 次回開催地挨拶
保 育 歌

二 加盟保育團體

京都保育連盟 大阪保育會 兵庫保育會 岡山
縣保育會 奈良縣幼稚園會 三重縣保育連盟
和歌山縣保育事業協會 滋賀縣保育研究會
名古屋市幼兒教育會



新教育における指導について——(三)

——幼兒指導要録の基礎としての指導——

文部事務官 玉越三郎

四 指導の基礎

1 個人差

指導がおのれの幼兒を最もふさわしい形で發達させるために加えられる助力にあるとすると、教師がまず研究し確認しておかなければならない基本的な問題に個人差と豫見とがある。それに指導が教師と幼兒との直接の解決であることから教師の教養は指導に大きな關係をもつてくる。

新しい教育における個別化の要求は、個人差の肯定にあることはゆうまでもない。個性を尊重するとは、教師が幼兒の集團を對象として共通の項目を指導する場合も、その對象を個人において、その個人個人の幸福と幼兒が將來人間として有用な人物となることができるように、必要なときに必要な程度に、幼兒も一個の人格者として懇切に助力を與えることにほかならない。教師がこの責任を果すためには、先ず各幼兒の個性——個人差——について知つておく必要がある。

幼兒はその各々のもつ能力、興味、要求などによつて個人としての行動を左右しているばかりでなく、社會的な在方をも決定している。然もこれらの能力、興味、要求等は個人的にかなり大きい差異があることは何人も認めるところである。この差異すなわち個人差の生起の原因を考えてみると、一般的には、遺傳と環境との兩因にあるといわれている。この遺傳による差異——先天的な可能性——は現在のところこれを直接明らかにすることは不可能であるが、實驗やテストや觀察を通して或程度知ることができると。たとえば特殊な能力や相對的な優劣や興味の方向や要求の多寡や全人格の差異等は或程度は一應明らかにすることができると。つぎの環境による差異——後天的な可能性——すなわち生育條件はわりあい調査に困難を感じないと思はれるが、しかしこれは先天的可能性が明確にならないかぎり、果してこれが環境によるものであるか、或るいは遺傳によるものであるか、判定に苦しむことが多い。ともあれ幼兒指導の上から我々がここに問題

として考えなければならぬことは、幼児のどの特性がより環境によつており、どの特性がより遺傳によつているかとゆう點であつて、これが遺傳でありこれが環境であると決定する必要はないと思う。なぜならば幼児の指導上にも、幼児を理解する上にもその幼児の精神上身體上の特性傾向さえ明瞭になればそれについての指導の方向が確定できるからである。たとえば、この特性はより環境によつてゐるから、このような環境の變化をもつて指導できる可能性があるとか、この特性はより遺傳に依存してゐるところが多いからここまででは指導できる可能性があるがそれ以上は困難であると或程度判断することができるところである。

2 豫見

幼兒はことに個人差が甚だしいと同時に、きわめて個人的にも社會的にも未發達未成熟であることは指導上大きな意味をもち、指導の重要性もここに考えられるのである。なぜならば指導が瞬間的な思いつきのものではなく継続的計畫的なものである以上、各々の幼兒が月日のすすむにつれて身體的にも精神的にも社會的にも機能は分化し複雑になり、社會的接觸面も大きくなり、その中に個人差を示してそれぞれ固有の姿を形成してゆくのであるから、その各々の幼兒の發達の状態を觀察研究してその幼兒が將來どのような姿になるであらうかとの見通しをつけ、五年後十年後この幼兒はこうなつてゆくであろうとゆう、出來うる限り正確な豫見の下に継続的な指導をする必要に迫られる。

ここに各幼兒の成長發達に對する教師のより正確な豫見が重要となつてくる。幼兒はきわめて未成熟未發達であるから、その成長發達に對する正確な豫見はそれ自體きわめて困難なことであるが、しかし、全く不可能であるとはいえない。繼續した教師の觀察、調査研究によつて或程度正確に豫見できることは可能であり、これによつて價值ある指導ができるのである。教師はすべからず幼兒の成長發達に對する權威あるよき豫見者でなければならぬ。

3 教師の人格と教養

指導の主體が幼兒にあることは言うまでもないが、その活動に影響を興える最も大きいものは教師である。指導は理論でなく活動であり教師それ自體の行動にまつ助力であるから、その教師の人格と教養とは指導の實際に大きな影響を興えるばかりでなく、その指導の効果いかに規定する大きなかぎとなることはここにあらためてゆうまでもない。個人差の把握にしても、發達に對する豫見にしても、科學的調査方法の正確でない今日では、結局教師の判断にまたなければならぬ。その上よき指導の機會により適切な處置をとる者は必ず教師その人でなければならぬのであるから、その教師の圓滿な人格と廣く深く深いかつかたよらない教養と、更に専門的技術の優秀とは、指導上缺く事ができない要素である。

從來教師の指導者としての技術的な面は常に唱えられ、教師間でも永く研究されてきたところであるが、教師の人格と教養についてはとかく等閑にふされてきたうらみがある。わ

れわれは今後正しい指導のために、對象となる幼児の個性の理解と發達に對する豫見の正確を期すると共に、教師自からの人格の高潔と専門的教養はもちろん、一般的教養の廣くかつ深さをますためにも、たえず努力がはらわれるように注意しなければならぬ。ことに幼児は未發達なため、異つた要求も同一現象をもつてあらわすことが多く、これを教師の教養の淺さからその現象のみを觀察して、あやまつて同一要求として指導するようなことは、幼児にとつて障害となるばかりでなく幼児を思わない不幸に陥し入れることも少くないことを思わなければならぬ。なお教師のかたよつた人格や教養は、往々教師と幼児の「性格的な相違」との名の下に幼児を破滅に導く事のある事を深く反省する必要があると思う。

五 指導の方法と指導の場所

指導の方法としてその中心をなすものは、まず教師からみれば助言と助力とであり、幼児からみればその幼児全體すなわち「全體としての幼児」の活動なり經驗である。これをその幼児の發達段階の相違、程度、個性、時、場所等によつて如何に導くかが指導方法の根本であるが、同じ幼児に同一條件の下で同一の指導をしても同一の効果は決して得られないことがあるとゆうことを考えておかなければならない。

指導法の具體的な問題については、稿を改めて述べる機会もあると思われるので後にゆすることとするが、指導法の根本として注意しなければならぬことについて一、二述べて

みる。

その根本としてとりあげる問題は先ず對象となる各幼児の經驗及び活動と興味、要求、能力等の確實な把握にあることはゆうまでもないが、指導が繼續的計畫的な助言助力にある以上、教師は必ずそれを基礎として指導の目的を確立する必要がある。その指導の目的が確立してこそ指導の方法も考えられてくるのである。

次にその目的の下に充分研究され検討された指導計畫が立てられる必要がある。これは各々の幼児の成長發達にそくした、教師の正しい豫見の下に立案されたものでなければならぬ。この計畫には組としての集團指導はもちろん豫期される幼児の特別な指導についてもできる限り詳細に註記しておく必要がある。最も理想的には幼児一人一人の指導計畫が用意されることである。そしてその結果が指導要録に記入され、その結果が次の指導計畫を的確にし得られるようになることである。第三に、豫想した目的の下に立てられた指導計畫はあくまで豫定であつてこの計畫によつて幼児の指導を制約することは嚴にさけなければならないことである。計畫はあくまで計畫であつて、そこに豫定された指導法はあくまで豫定である。それは幼児の興味や要求は或程度豫見できるが的確に豫想できないところから起る矛盾であつて幼児を指導する上には往々起ることである。これを現實の幼児の要求や興味を無視して、豫定の計畫通り教師が指導するとゆうことはそれは全然指導ではなく教師の強要となるおそれがある

なお指導の方法としては、一齊指導、集團的指導、個別指導等があり、また積極的指導、消極的指導等も考えられ、さらに助言と助力等が考えられるが、これらの指導法はあくまでその指導の重點をどうみるかによつて、挙げられる方法であつて、現在小學校、中學校等で唱えられている指導法も數多くあるが、幼児指導においてはあくまで幼児の生活の中に示す事實について指導する生活指導（綜合指導）が根本であり分科的指導であつてはならず、また教師の行動によつて示す助力を主とした指導であり助言を副とする教師の身をもつて示す指導であることを忘れてはならない。

指導の場所についてはあまり述べられたことがないからここに少し述べてみる。場所についてもいろいろな分け方があるが、その一、二を考えてみると、

幼稚園における指導

この面の指導の方法はカリキュラムの内容と最も密接不可缺のものである。今日の教育はカリキュラムにしたがつて幼児の生活経験を豊富にして、個人的にも社會的にも調和のとれた心身の發達を圖ることを企圖しているものであるから、幼稚園における教育はすべてが指導であるといつてさしつかえない。たゞ現在の各幼稚園のカリキュラムには、指導の面の計畫が非常におろそかにされているから、今後のカリキュラムの計畫にあつてはこの點に注意しなければならぬ。望ましい幼稚園のカリキュラムは、幼児の生活経験を中心とした構成であり、その生活の中に繪畫も音楽も製作も綜合

されたものとして立案されたところの幼児の楽しい生活の経験の系統的な計畫でなければならぬ。それゆゑ計畫中には、一齊指導に對する點ばかりでなく幼児各人についての指導方法も記載されていることが必要であるが、それが不可能な場合には、少くともその計畫の下に行われる。實際指導にあつては教師は、一齊指導の中にも各幼児個々に注意して、指導することは忘つてはならない。

同じ音楽にしてもその受容できる可能性は各幼児によつて異なるのであるから、教師は一齊指導の中に各幼児のその要求の度合すなわち指導の度合を考慮して指導しなければならぬ。さらに新入園の幼児や身體的精神的な、缺陷や故障のある幼児や幼稚園を修了して小學校に入學する幼児等については特別な指導方法がとられる必要があることも考えられる（なお園外指導についても問題はありますがここには省略する）

家庭における指導

幼児の指導面は季節により家族の職業により教育の理解の程度によつて、各家庭において相當相違が見られるが、日曜日、休日、春夏冬の休暇は一般的に考えられなければならない。幼児がこれらの餘暇をどこでどのように過ごすかは指導上相當關心を持つ必要がある。幼児は幼稚園における生活時間より家庭における生活時間のほうが遙かに多いのであり、幼児の生活の中心はあくまで家庭であることを思うとき、家庭の生活は幼児の成長發達に重大な影響を及ぼす場所であることは何人も否定できない。それゆゑ各幼児を責任をもつて

指導する者にとつては、幼児の各家庭における生活についての關心と行動を注意深く研究調査する必要がある、その結果を基礎としてあらゆる方法を考究して家庭における指導をしなければならぬ。ことに家庭における指導は直接指導でなく、間接指導であり、先づ家庭の母を指導し密接な連絡の下に協力して指導する必要があるから、その指導方法については各幼児ごとに豫め充分研究しておいて、父母に指導方針を十二分に徹底させておく必要がある。これを不十分に行うとかえつて指導上障害となるような結果になるおそれがないとも限らない。これは夏季、冬季、春季の長期にわたる休暇において特にそうであるから、この期においては期間中何回か召集してその効果を検討して訂正してもらうか、教師自から各家庭を訪問してその効果を検討してさらに指導するようにするかしなければならない。

六 指導の基礎としての資料

指導の基礎として最も重要なことは、個人としての幼児すなわち、全人格としての幼児を理解し、幼児をとりまく家庭及び郷土社會を含む生活環境の實態を確實に把握することである。いかえれば幼児全體を正しく廣く理解することである。それには幼児について充分調査研究實驗してあらゆる資料を得る必要がある。幼児を正確に認識するための資料としてはいろいろ考えられるが、われわれが先ず考えなければならぬことは、如何にしたら個々の幼児の正しい姿が把握で

きるかとゆうことを、事實を中心としてたえず科學的方法によつて實驗—觀察—調査—研究して、幼児に關するあらゆる面にわたる事實についての生活記録を用意することにある。それには幼児の過去における身體的、知的、情緒的、社會的その他全人格に關する發達記録ばかりでなく、現在の狀態すなわち幼児が現に位置している境遇において全人格としてのありのままの姿を含む必要がある。これについては近く文部省から幼児指導要録が出される豫定であるから詳細については後の機會にゆずるとする。

この外幼児の成長發達に關係のあつた家庭環境の資料、社會環境の資料、學校記録、幼児日誌等はおもな資料としてあげることができる。

ここに注意しなければならないことはこれらの資料はあくまで幼児を指導するためのものであるから、無秩序にこれらの資料を集め又は記録するだけであつては、貴重な時間を空費するばかりで何の役にも立たなくなるおそれがあるから、これをよりよい資料とするために教師は指導目的の下によりよく整理整頓された有機的收集體となすよう、その方法を考究して充分活用し、これを記録のための記録として棚の上の置物としないように注意することが必要である。

七 指導の組織

確實な指導計畫及びその指導の實際は、教師一人またわ二人ぐらゐによつて成就するものではなく、周到に計畫され阻

織された人々によつて継続的組織的に研究が續けられて始めて成就するものである。本來指導は幼児の生活自體を離れては成立しないものであるから、幼稚園から家庭、社會における指導體系を確立しなければ眞の指導はできない。幼稚園と家庭とがその指導にுகிちがいがあれば指導の效果は期待できず、またあまり煩瑣な指導法であつても敬遠される。これがため幼児の發達段階と指導の目的とによつて幼稚園は家庭と社會との協力を得てここに有機的な關連をもつ指導組織を持ち、できうれば教師、父母、醫者、學識經驗者、心理學者等を含む指導委員會といつたようなものを組織して指導計畫を作成する諮問機關とし、また具體的な指導における各野の責任者を定めて、互いに連絡調整をはかる機關ともして、活用することができような組織がもたれることが望ましい。なお幼稚園としての指導計畫や實行に關する全職員（組擔任教師は組以外の幼児の指導も積極的に當るような）や特に父母の積極的な参加、または活用については今後幼稚園として充分研究する必要がある。

この組織は一幼稚園ばかりでなく、同一地域内の幼稚園が相互に協力し或いはさらにこれを擴張した地域に及ぼし、園児のためによい指導の組織が確立されることが望ましい。

八 指導の評価

行爲に對する反省はすべて必要なことであるが、指導によつての結果の反省はそれを通しての進歩改善のためにも大き

な價值をもつものである。指導は先ずその目的が立てられ、この目的達成のために指導計畫が立てられ、それに適した種々の方法、組織が考えられて實際の指導が行なわれるのであるが、その計畫に對して實際行われた指導の結果がどうであつたか、果して所期の目的がはたされたか、指導計畫は妥當であつたか、指導の方法や組織はよかつたか、資料は充分研究されたものが準備されていつたか又幼児自身からはどんな反省をしたか等反省して速やかに次の指導に役立つように訂正する必要がある。そのうえ幼児それ自體が發達體であり、またその生活環境も常に進歩し變化しているのであるから、指導の目的、方法、組織等についてもそれに合致させるためには常に訂正し常に改善する必要に迫られてくる。

ことに幼児についての基本的資料についてはテストや父母の報告や教師の觀察の結果正しかつたかどうか、又幼児についての教師の豫見は正しかつたか、指導の方法は適切であつたか、幼稚園側の評價と家庭側の評價或いは社會のそれと一致していたかどうか等は、充分考究してこれを速やかに訂正する必要がある。これにもとずいて指導計畫を再検討して正しく立案しなおし常に幼児に適切な指導をするよう細心の注意を拂わなければ、幼児にとつて正しい指導といえなくないものである。なお評價は、幼児自身におこなはせる方法と幼稚園、家庭、社會のおこなう方法とがあるがこれらについては省略する。

母の育兒態度について——(一)



——母親の觀た吾が子の理想像——

お茶の水女子大學
兒童研究室

和 田 豊 子

目 次

一 研究目的

- 一 研究目的
 - 二 研究方法
 - 三 調査對象
 - 四 調査結果
- (一) 各像の得點
 - (二) 兒童の理想像
 - (三) 母親の理想像
 - (四) 結果の検討
 - (五) 母親と兒童との比較
 - (六) 事 例
- 五 結 び

この研究は現代母親の育兒態度を知るために試みたものである。元來人間行動の特質を表わすものとしては性格又は、人格がとり上げられているが之らと並んで最近の心理學では態度 Attitude がしばしば問題にされている。文化や社會に對する人間の反應はこの態度を介して知ることが出來、特に個人の思想とか情操とかいつた精神活動を研究するためには最も適切な方法であると言われている、そこで私はこの方法を用いて母親たちの子供に對する行動の傾向を探らうと試みたのである。さて、「家庭に於ける教育的因子」としては、

- 一、家庭の生活形態に關するもの。
- 二、子供の身體的養護並びに訓練に屬するもの。
- 三、子供に意識的又は無意識的に働きかける力としての兩親又は保育者の教養態度。

などが考えられているが、この研究でとり上げたのはこの

内の、

(三)に含まれる母親の態度、殊にその背景をなす心理的な面を主としたものである。前に行われた青木誠四郎氏の『児童生育調査』の結果によれば、両親の養育態度には、嚴格、放任、溺愛、神經質、反省的、閑却の六つの類型があると言われているが、氏のものは「躰け」に重點が置かれていた。私は「薰化」といつた内部的因子に主眼をおいたつもりであるが、淺學のために充分その目的を達する事が出来なかつた。

『母親の育児態度』の要因として私は、「母親の兒童觀」「子供への愛情の型」「子供への効果的な期待」「養育原理の存り方」「子供の理想像」「家庭觀」「教育方法」「躰け方」「現在當面している問題」などを取り上げ、これらの諸點を究明することによつて『現代母性』の育児態度を知り、家庭教育が當面している問題を發見したいと念じたものである。

しかし、今回は、前述の諸項目の中の「理想像」だけをとり上げて報告したいと思う。終戦後を契機として私たちの價値評價の態度は大きな動搖を來したが、新しい日本はどんな型の人間をその理想として描くべきなのであろうか。母親たちは愛する吾が子をどの様な人間に育てようとしているのであろうか。又子供達自身は如何に生きようとしているのであろうか。勿論理想像の確立には相當長い時日が必要なのであるが、ともあれこの問題は一人母親だけに限られたもので

はなく私共すべての人間が求め続けねばならない課題ではないであらうか。

理想像以外の諸項目についてはいづれ機會を得て報告することとし今回は割愛することにした。

調査を實施したのは、昭和二十四年九月より十二月に至る四ヶ月間、整理のためには三ヶ月を費した、尙研究に當つては終始牛島義友教授の指導を賜つたことを附け加えておく。

二 研究方法

研究は實態調査により行つた。又調査は前述の諸項目を含む質問紙を用いたが今回はその中の「理想像」に關する調査項目についてだけ述べることにする。

理想像についての調査にはさき以後藤岩男氏が兒童に對して實施された方法にならい、十二項目の想定理想像を母親に示してその中から五つの像を品等選擇してもらつた方法を用いた。即ち、

『あなたはお子様をどんな子供に育てたいと思いますか、次の例の中から五つを選んで^{希望}順番をつけて下さい』の如き質問文に加えて十二項目の理想の兒童像を提示した。回答に對してはまづ選擇された理想像に對して一位に五點、二位に四點三位三點、四位二點、五位一點、の如き評點を與え、次に各像の得點を集計整理し、その結果について検討を加えたのである。

整理にあつては種々の分類を試みた。即ち最初は各理想

像を中心として集計し、次いで十二の像を四群に集め、各群について、地域別、家庭の職業別、母親の年令別、等の角度から整理してみた。又兒童自身の評價結果と比較する方法も試みたのである。

三 調査対象

調査の対象はこれを、東京、地方中小都市、農漁村に分けて各地域から乳幼児を現有している母親を無選擇に採り回答を求めた。各地域及び回答を得られたものの数は、

東京	山手地區	一五〇	計二九七
	下町地區	一四七	
地方都市	尼ヶ崎市	一〇八	計二五〇
	盛岡市	一四二	
農漁村	磯濱町	九三	計二一三
	豊里村	一二〇	
	合計	七六〇	

であつた。

(註) 磯濱町は茨城県東茨城郡所在の戸數、三、三二六、人口一五、六一八、内漁業世帯八〇八の純漁師町であり、豊里村は京都府何鹿郡に在る世帯數一、〇八〇、人口七、五〇〇、農業世帯九三五の純農村である。

対象家庭の職業分布を%で示すと

	專門的	半專門的	熟練	その他	總員
東京	二〇・〇	六三・六	六・三	一〇・二	二九七人
地方都市	二五・二	五三・六	四・〇	一七・二	二五〇人
農漁村	〇・九	一〇・七	八三・一	五・三	二一三人
計	一六・三	四五・五	二七・〇	一・三	七六〇人

で表によれば東京及地方都市では、半專門的職業家庭が半ば以上を占め、農漁村では、大部分が農漁業であることが知られる。

又対象となつた母親の年令分布は次表の通りである。

地域	年令	員數(人)					無記
		三〇—三九	四〇—四九	五〇—五九	六〇—六九	七〇—七九	
東京		三〇一	一五・〇	五四・一	二七・〇	一・三	二・六
地方都市		二五六	一一・六	四三・〇	三八・〇	六・六	〇・八
農漁村		二一六	四・二	二〇・五	五〇・〇	二三・三	二・〇
總計		七七三	一〇・八	四一・二	三五・六	九・三	三・三

(單位%)

右によると全員の年令比は三〇歳から四九歳のものが七七・九%でその大部分を占め、地域的には都會ほど若年が多くなつてゐる。

又、母親たちの教育程度は

地域	地域別児童数(人)				
	初等%	中等%	高等%	無記%	合計
東京	二九・〇	五〇・〇	一七・三		三〇〇
地方都市	二一・八	六三・二	一一・八		二五六
農漁村	七四・一	一四・四	一・四		二二六
総員	三五・〇八	四四・四三	一一・〇一		七七二
					六・四八

で東京及地方都市では半ば以上の母親が高女卒、農漁村では大部分が小學校卒、高等教育を受けた母親は全體の約一〇%にすぎない。

(註) The young child in the Home V. S. A. 1929 によれば當時のアメリカ母性の教育程度は

無教 教育年限 % ハイスクール % カレッジ%
 育者 一―八年のもの 一―四年までのもの 以上のもの
 〇・七 三三・七 三七・〇 二八・六
 であつた。

次に各母親たちの平均所有児童数を記せば、東京山手地區が最も少く、三・〇八名、S・D、一・四一、漁村は最も多く五・四八名、S・D、二・一八、農村は四・六二名、S・D一・五八であつた、しかしこれは母親の年令とも關係深いものであるからこのまゝ兩者を比較することは出来ない。

對象の母親に所屬する子供の總数は二、七二八名であり、その詳細は次表の如くである。

數供子別區地

地域	児童数									
	一	二	三	四	五	六	七	八以上	平均	S・D
山手	八・八	二九・五	二六・八	一七・五	一〇・〇	四・〇	〇・七	〇・七	三・八	二・八
下町	九・九	二五・八	三三・三	一七・五	一六・九	七・五	六・八	五・三	三・九	二・九
尼ヶ崎	二・九	一四・三	二〇・〇	三三・〇	九・〇	九・〇	〇・九	一・七	一・七	二・八
盛岡	〇・六	三三・〇	二五・二	三三・〇	七・七	五・〇	〇・六	〇・〇	二・〇	二・八
農村	四・五	六・九	一九・五	一七・〇	三三・〇	一四・五	八・七	六・九	三・七	二・八
漁村	二・八	五・六	一四・一	九・八	一五・六	二六・九	三・五	三・七	三・八	二・八
總員	八・五	二六・六	三三・五	二〇・〇	二五・三	一四・五	五・五	四・一	三・八	二・八

以上述べた研究對象について考へてみるに對象者の年令構成の點に多少の偏りが見られる、即ち農漁村に於ける對象の年令が他地域より自立つて高いが、これは地域的な比較、年令上の比較等をする場合念頭に止めなければならぬと思ふ。この點で必ずしも思わしい對象でなかつたことを残念に思ふものである。

(つづく)

第四回全國保育連合大會

第四回の全國保育連合大會は、去七月二十七、二十八日の兩日、九州地區福岡市において盛大に行われた、が來り會するもの二千を以てかぞえる、保育精神の大團結であつた。活潑な意見の發表、力ある討論、つゞいておこる嵐のような拍手、——九州の地は保育精神のオリンパス殿堂として、保育精神の大フェステバルとして、湧くがごとく、燃えるが如き盛大の壯觀であつた。本誌は特にこの盛事の模様を、全國同志につたえ、又、あとにつゞくものにつたえるべく、内山、岡田の兩氏に乞うてその記録を掲げた。(編集部)

テント下の感想

全保連前事務局長 内山憲尙

全保育大會も回を重ねて窓々第四回を迎えた。もうこゝまでくれば、存立の確定が實證せられ、永續が約束づけられたものである。希望の光は永久に、全國保育連合會の上にさし込んでくるであらう。今やこの重大な使命を帯びて第四回全國保育大會の幕は切つて落されんとしている。

x

新潟の第三回全國保育大會で次回開催地として九州地區が引き受けて斷つて以來、直ちに大會準備に着手して、一ケ年の間九州保育界は擧げて本年の大會にその全心全力を傾注したのであつた。それにもかゝらずいくつかの難點も案じられた。

その一は南によりすぎていて、特に關東、東北から出掛けるとすると多大な費用を要す

るということであり、その二は幼稚園教諭の新免許法による資格単位をとる講習が夏休み中全國で開かれていることである。そこへ新しい難點が突發した。

それは朝鮮問題で、六月には九州地區に警戒警報が發せられて、燈火管制があり、ために、各地から「大會は大丈夫ですか」との問い合わせなどあり、某地區團長さんなどは眞面目に「九州までは汽車の切符を賣らないですよ、すね」とさえ言つていられた。あぶないから中止しますという聲もところ／＼からきかされた。

以上の様な心配で、千人も集れば大盛會だ

ろうと云うのが當事者一同の辭であつた。：
ところがこの心配は見事に裏切られた。七月に入ると續々と申し込みが舞い込み千人突破、七月中頃には千五百人、會の前には千人と云う數字を示したのである。

豫定した講堂も間に合わず、どここの學校講堂でも千五百名以上を收容するところなく、市内劇場も八九百かの收容力しかない。終に學藝大學のグラウンドに大テント數帳を以て會場とすることになり保育大會が始まつて以來の新大會が持たれることになつた。

千五百人分しか準備してなかつた、本會の要項印刷物や土産の用意や宿屋の手配などでも全くの大奮、正にうれい、悲哀である。

昭和二十五年七月二十八日午前九時、二千
人餘の參集者はテントの下に充ち滿ている。
おそく來た人は椅子が足りないといふ有り様
昨日から心配された。その中でも天候はおさ
まつて、うす日に恵まれた涼しい天幕會場。
正面には日の丸の旗と今回新たに制定され
た、全保連マークの大旗が、靜かにゆれてい
る。

岡田榮實九州連事務局長司會の下に、開會
式は保育歌齊唱で始まつた。

内山憲尙全連事務局長の開式の辭、大野柔

忍大會準備會長の經過報告、倉橋惣三全連會
長の鶴駕なメッセージを坂元彦太郎副會長が
代讀された。

祝辭に移つて民事部長のメッセージを勝野
調査官が代讀、厚生大臣の祝辭を網野智事務
官が、文部大臣の祝辭を玉越三朗事務官が代
讀、奥田副知事が上京中の知事に代つての祝
辭、七十一歳の三好彌六福岡市長がニューモア

に滿ちた祝辭をのべられた。

ついで昨年大會からの繼續委員會の報告

1 規約改正委員會 青柳義智代

2 カリキニラム委員會 秋田美子

3 一元化調査參考報告 山下俊郎

を豫定の時間通り十時に終つて、高森豊九
州保連副會長の開式の辭で開會式の幕を閉ぢ
た。

式後代議員を以て構成する總會に入る。會
長代理で坂元副會長議長となつて、各部の報
告がすんで、議事に移つた。

一、決算豫算報告

鈴木と財務部長の報告、二三質問あつて

可決

二、規約改正

規約改正委員會案について協議、會長を
置くか置かぬかについて種々意見を交した

が、採決の結果數票の差で、會長は置かな
いことにし、委員制にした。

一新規約による委員の選出は二十團體につ
いて一名は可成り意見も出たが原案通り可
決

第一日目の部會は二時から各部毎に開かれ

一、第一分科會(幼児文化)

1 幼児の諸經驗獲得過程について承りた
し(九州長崎)

2 幼児のリズム教育について適切な指導
如何(九州長崎)

8 室内の自由遊びの方法如何(九州佐賀)

4 保育要領の改訂、指示に關する件(九
州大分)

5 幼稚園保育所に於ける宗教教育は如何
にすべきか(福岡、岡山)

6 母の會PTAの運営及び指導方法如何
(東海、北陸)

7 知能検査を実施する場合、その種類、
方法、効果について各縣の實情及び御意
見を承りたい(東海)

8 健康保育と給食實施の普及徹底につ
いて(東海)

9 時勢の推移に鑑み保育上留意すべき點

如何(中國、岡山)

10 保育要領の具體案作成について(四國香川)

11 優秀な幼児向視覚教材の作成普及に關する件(關西、奈良)

12 幼児の環境整備につき特に留意すべき點について(關西、兵庫)

13 問題の子供の適切な取扱について(關西、京都)

14 保育効果の評價基準について(關西、滋賀)

15 幼児に科學心を啓培する具體的方策について(四國、徳島)

16 幼児の健康教育を如何にすべきかについて(四國、高知、北陸、石川)

17 幼児にすゝめるよい遊びの編纂方要望について(四國、愛媛)

18 幼稚園保育所と小學校低學年との具體的連繫方法について(東京、福岡、高知)

19 保育日を制定せられたし(關東、東京)

20 カリキュラムの構成に對し園外の生活幼稚園の給食の實際について承りたし(北陸、石川)

22 指導を重視せられたし(北陸、石川)

才能教育を保育にとり入れることの可否(東海、靜岡)

23 躰に於ける自由と抑壓の問題に就いて伺いたし(關東、神奈川)

二、第二部會(制度、組織、經營)

A 第一部(幼稚園)

1 各都道府縣教育委員會に、專任の幼稚園指導主事を必ず置かれない(北陸、石川、關西京)

2 地方に於ける兒童行政のセクトを排除し適當な連絡機關を結成したし(北陸、石川)

3 幼稚園の財政的基礎を確立する爲、國庫及び府縣よりの補助金交付について、(東京、香川、廣島)

4 幼稚園教諭養成機關を各府縣に設置するの件(東海、香川)

5 教育職員免許法による勤務年數の計算には保育所の勤務も幼稚園同様となすと(中國、廣島)

6 保育施設(幼稚園・保育所)の適正配置に關する件(關東、千葉)

7 私立幼稚園の法人認可に際し經費軽減の件(九州、福岡)

B 第二部(保育所)

1 兒童福祉審議會委員中に必ず公私立保育所の保育の代表を加えられたし(石川)

2 保育所に保健婦を配置する件(石川)

3 私立の兒童福祉施設に對して、公的補助の道を開くことについて(四國、高知)

4 兒童福祉施設最低基準の一部改訂並に延期方要望に關する件(東京、福岡、愛媛)

5 現下幼児保育の重要性に鑑み縣兒童課並びに郡市駐在の專任指導主事又は保育の設置に關する件(四國、徳島)

6 平衡交付金に保育所の經費を明らかにすること(中國、島根)

7 保育所保育の身分保障について(鳥取、茨城、福岡)

8 私立保育所の法人取扱について(滋賀、高知)

9 保育所關係の樂器保育用品免稅の件(東海地區、九州)

10 私立保育施設に保險組合結成促進の件(東海、九州)

11 保育所への對象児を適確に措置された(關東、神奈川)

12 保育所保育母養成機關を各府縣に設置する件(東海)

13 保育所に對して國庫補助の道を講ぜられたし(關東、神奈川)

第二日午前中は部會が持たれた。各部會の構成は次の通りである。

第一分科會（文化全般）

〔部長〕宮内 孝 〔副〕安康兼慶

友田靜惠

第二分科會（制度組織）第一部會（幼稚園）

〔部長〕鈴木信政 〔副〕鳥井暢起

狩野みつ

第二部會（保育園）

〔部長〕齋藤久吉 〔副〕小坂文雄

江口まさ

各部會が活潑な情景が展開されて、午前中で終了した。この間各府縣から新規約による委員が選出されて、常任委員會を開催する。

常任委員中から委員長と副委員長を選び

〔委員長〕小川正通

〔副委員長〕鈴木信政 秋田美子

と決定した。

尚、事務局は東京都に設置することになつて事務局長は小川正通と決定した。

午後一時から大會と總會が開かれ、大會議

長に秋吉豊喜、副議長に田中新次郎、岡田しげのがついて、大會議案について審議した。

1 保育者のアメリカ派遣と内地留學實施の件（關西地區奈良）一同賛成可決

2 全國保育大會を隔年に開催するの件（關西京都）は高折提案説明者の努力があつた

が、當分一年説に賛成が多く、毎年開催となる。

3 幼稚園教諭と保育所保育母の資格を共通する事件（關東、東京、關西三重）は一同賛成要望切なるものあり、新事務局に於て善處方を一任して可決

續いて各委員會の報告あり全部承認した。

午後三時より閉會式に移る。岡田榮資九保連事務局長の式辭に、福岡縣知事、福岡市長の挨拶あり、

續いて、各部會の報告あり、宣言決議文の承認を終り、總會の總意に於て前會長倉橋惣三先生の顧問推舉を萬場一致承認した。

參會者代表として、福岡若松幼稚園の玉川園長が卒直で熱のこもつた謝辭に老市長が登壇して握手をすと云う様な劇的なシーンを現わして、感激の氣分の裡に、保育歌は靜かに流れ、青柳義智代事務局次長の閉會の辭に

第四回保育大會は無事に幕を閉じた。

x

第四回保育大會は、二千名以上の参加を得て豫想以上の盛會を以て終つた。

本大會のよろこびを更にたのしいレクリエーションの見學が左の三班に分れて行れた。

A班 雲仙（長崎縣國立公園）

B班 阿蘇（熊本縣國立公園）

C班 別府（大分縣觀光溫泉郷）

本大會の實際の運営に當られた、九州の各保育界の人たち、開催市の方々、特に大會準備委員の諸賢に對し心からお禮を申し上げる

保育時報第八號にも書いたが、料理をたべて、まづいとか、からいとか、いくらも批評は出来るが、御馳走を作るまでには文字通り走り廻り駆け廻らなければならない。

全く御苦勞様である。料理人はあせをながして料理を作つて、人にたべさせて、自分はいたべる間もないのである。お膳立てをしていただいた方々に重ねて満腹の感謝と敬意とを捧げる。

大會準備を顧みて

九州保連事務局長

岡田榮資

大會が済んでホットする間もなく残務整理で毎日多忙を極めてゐる。大會開催當日までの準備の経過のうちから今後の大會についで多少とも参考になるだらうと又参考にして頂きたいことを私の想出の記から摘記してみよう。

九保連を結成受入態勢の準備

昭和二十三年の冬、大野柔忍先生（當時福岡縣保育協會の副會長）の來訪をうけ第一回全國保育大會の模様を詳細に承り、既に第二回大會を九州でという希望の多いこと等を傳えられ、一夜を協議に明したことがあつた。

之が私の大會にタッチした最初であつた。それから大野先生が福岡縣保連の會長に就任（私は副會長留任）を機として、大會受入態勢を整えるため、先づ九州保育連合會の結成の準備に着手、同年五月末これが結成式を福岡で挙げ、九月の別府會議で機構を整備し、十二月の會議の決定に基き第一回の九州保育大會を二十四年三月末鹿兒島で開催「全國保育大會を九州でとの全國的要望のあつた場合は何うするか」を大會議案とし満場一致で「心よく引受ける」を決議し、かくて昨年七月の新潟大會では九州ブロックはこの決議に従い大會の要望に隨つて快よくお引受けしたのである。

九州引受決定から準備會の結成

昨年の大會で豫想通り「九州」と決定したので、私は九保連事務局長の責任上、二泊三日の佐渡觀光も一日で切上げ、新潟の縣、市兩當局を訪ずれ、諸般の調査研究を行い、東京に廻り文部、厚生兩省の係官の意見も求めた。歸朝後八月半ばから九州各地（颶風で鹿兒島中止）を巡訪し、縣市、保育會等の要路を訪ね、或は座談會等を開き「大會についての意見」を全くの白紙で伺つて廻り、歸途大野會長に委細復命、之に基き慎重原案を作成、九月十二日に大會に關する初の九保連の會議を福岡で開き、趣旨書と言から開催期日、期間開催地等につき、實に午前三時まで熱心に検討して要綱案を決定、神戸の常任理事會名古屋での代議員會等の議を経て確定されたが、かくて十月三日大宰府に於て「第四回全國保育大會準備會」の發會式を舉行したのであつた。

大會準備は九月一日から着手し二十五年八月末まで残務整理も終了することとし、第一期 九月—十二月 大會開催要綱をブ

ックで原案を練り全保連の諸機關（常任理事會、代議員會）の議を経て決定、九州ブロックに周知徹底をはかる。

第二期 一月—五月 事務局の事務を分擔し

本格的準備に着手

第三期 五月—八月 全國的に呼びかけ、最後の努力を行い八月—パイは残務整理にあてる。

こんな企劃でいたが、大體この通り實施出來た。八月末で準備會は解散するが、會誌の編纂は「會誌編纂會」に引繼がれる。

一つの進歩でも—との念願一つは實現毎年大會で多少の進歩を實現させたいと考へ、今年の大會では大會議案と協議題は少くとも大會は一ヶ月以前に之を發表したいとの考で時には強引と言われながらすゝめたが幸に五月末とは「九州保育新聞」に掲載「幼児の教育」にも掲げて貰つたので充分研究して出席出來たことは確かに一つの進歩であつたと思ふ。

申込の締切を厳守したいとハリキッテ居つたが、期限締切勵行は誰でも「原則として」賛成するが、今年も矢張り惣々たる當日申込が多く受付を困惑させた。圓遊會や觀光旅行には當日無断で参加した方等もあつて、手薄な準備陣をいよ／＼混亂させられた。土産物や要録類もギリ／＼迄引延ばさねばならず、準備會當局を悩ました。今後は是非何日か以前に完全に締切の方法をとられたいと思ふ。

準備費の捻出に一足勢、業者に感謝

一番頭を悩ましたのは準備費用の捻出であつたがこれには左の二つの方法をとつた。

一、準備會を會員制度にして、先づ九州ブロック内の保育關係者(園長、保母等)に呼びかけ、期限を定めて會費の前納をして貰い、相當の特典をつける。

二、業者も特別扱をせず、共に手を携えて行くことにし會費を賛助(一口一萬圓)特別(一口千圓)と普通(一口二百圓)の三口とし大口には分納納入の相談をした。

一、も二も相當成功した。大分熊本長崎の各縣は殊に協力して呉れた。この會費前納制度で、借入金等もしないで何うやら準備が出来たことは協力の賜と感謝に堪えない。

廣報、周知に腐心、實施した方法
大會開催要綱の通知の方法には相當の苦心をしたが結局左の七つの方法を實施した。

1 九州保育新聞の配布
2 縣民生部長から各地の民生部長宛(保育所關係)

3 縣教育長から各地の教育長宛(幼稚園關係)

4 各縣保育團體長宛

5 全保連全國常任理事宛

6 各市長、大學長、校長宛(國公立施設關係)

7 各地の諸會合で宣傳

凡て振替用紙——専用口座を印刷した拂込料金加入者負擔のもの——を同封して送金上の便宜を考慮した振替用紙の同封は歓迎され實効もあつた。

後で聞いたが多數の不着のあつたこと、並に府縣當局によつてはトテキ熱心に下部通達の努力を拂つてくれたところと黙殺のやうな態度をとられたところがあつたらしい。

全國各施設に直接漏れなく出したいと思つたが、ある事情で實行できなかつたことは遺憾であつた。又、九州保育新聞の一〇〇ページント活用を熱望したが一部の狹量者の誤解と無理解の爲に思うように實行できなかつたことは返す／＼も残念であつた。

大會の持ち方についての提案
いろ／＼書きたいこともあるが大會誌に譲るとしてこの際最後に大會の持ち方にとつて卒直な意見を提案したいと思ふ。

一、大會は全保連の主権としなくて開催地元(府縣、市等)との共催とするか、或は、地元の主権にすること、助成金等の關係が非常にむづかしい。

二、参加申込は當日は一切受け付けないことにする。準備の萬全を期し、當日の混雑がふせけるばかりでなく眞面目な會がもてる。

三、これは非協力的な日寄見の人々に對して最もよい決意促進の方法である。

四、全保連の會員と非會員との區別をつけて参加費に差別をつける。會員でも非會員でも同様の待遇であることは何う考へても納得出来ない。

五、講習會等は當日申込も悪くはないが、この場合は二重受付をつくり、第一受付で會費を納入し、第二受付(會場入口)で受講票(三日の場合はミシンで三枚にする)をとる方法にする。混雑と群衆心理でロハで受講したものが少くない、その氣持も制度も改善したいものである。

次にお願いが一つ、大會参加者には要録を御渡したが末尾の参加票を送つて頂き度い。大會参加者芳名錄を大會誌につけたいの一人も漏れなくお願したい。

大會誌は有料(一冊送料共二百圓)で前金注文者だけに發送し贈呈制はとりませんから御入要の方は至急申込んで頂きたい。

(申込先は福岡市町外二日市財團法人九州保育研究所、振替口座福岡四三、三四〇番)

終に準備不行届きの爲参加者各位にいろ／＼御迷惑をおかけしたことが多かつたと思ふ、衷心からお詫び致します。

幼稚園小學校研究集會參加報告(2)

八月號記録欄で御知らせしたように、去六月十二日から十七日まで、千葉縣市川市眞間小學校で幼稚園小學校研究集會が行われた。研究集會を幼稚園が行つたことは最初のこと、その成果は各方面から注目されてゐるところである。茲に集録するものは、これに参加した東京公立幼稚園代表の感想・參觀のレポートである。前號には、小山田氏の分を掲げた。今月號には山村きよ氏のものとされたのを掲げる。(編集部)

2 眞間小學校一年A組參觀記

東京公立幼稚園代表
港区立西櫻幼稚園

山村きよ

の劈頭第一にミスアレンプローズ女史から詳しく授業の見方と、評價の仕方について御注意をうけた、その大要は、

(一) 見方について

目標が何であるかを理解しておく。この目標達成の爲にいかなる方法にとられたかを見る。

又教師はいかなる準備をしたか、それが適當であつたか。

兒童が目標にふさわしい學習活動をしてきたか、即ち兒童の學習活動が價値あるものであつたか。

ワークシヨップの花形ともいふべきデモンストレーションテイーチングの參觀は私共幼稚園関係者には一年生が割當られた。私はAクラスの授業を參觀することになった。男児二八女児三一計五九名が毎日六十分づゝ左記のような指導案のもとに四日間行われた、毎日の授業の前には必ず指導者の説明があり終つてからの一時間は各縣から集つた優秀な先生方の代表の方々によ

つて授業についての熱心なディスカッションが行われた、日頃幼年の立場から小學校低学年の授業參觀をのぞんで居た私も當面の保育に追はれていてその折もなかつたので今回は實に有意義な四日間の參觀であつた。指導計劃、實際の取扱についての一々詳しい批評は紙面が許さないで、私共保育関係者に取つて共通する参考點を二三のベ

て見たいと思う。まづワークシヨップ意圖した目標以外に何か重要な成果

が得られたか。

必要に応じてグループ構成がなされたか、教師は児童の個人差に應じて何か方法が講ぜられたか。

學習活動がスムーズに流れていたか、學習が活發で各児がそれ／＼うまく活動していたか。

(二) 評價の仕方について

實演授業目標からそれないように、單なる自己の経験や見解の公表であつてはならない。

會員の意見は相互に連關し發展的なものでなければならぬ(ある一人の發言が次の人にうけつがれて)

發言者は意見を簡單に述べ一人でも多くの時間を獨占することはいけない。各自は主題や目標からそれることなく集中的に發表し合ふことが必要である。

抽象的な原理や理論に終ることなく實際的な問題を中心すること。

授業者に對して最高の人格的敬意を拂い授業者の弱點をあげたりして尊

敬を失なつた態度はつゝしむべきだ。

これらのことを胸に帶して授業を參觀したのであるが多くの參考を得て、しかもそれが保育とのつながりに於て非常に考えさられる面が多かつた。一々實際の教育の場に突き當つてのべることが出来ないのを残念に思ふが感想をまとめて見るならば、

イ 目標について

授業の過程が單元のねらいを實現するように工夫されてはいたが適合してない箇所もあつた。

教師の行動は一つ／＼の目標の實現に合致するように努力されていたが、児童には目標の自覺がされていない面が見受けられた。

四日間の授業で豫定した目標は大體達成されたと思う。

ロ 準備について

教師の目標達成の爲に非常によく準備していた(教師の手になるいろ／＼の調査物も教室内に澤山展示されてあつた)

教師によつてあまりによく準備され

たため児童の活躍する場面が少く残念であつた。

せつかく教師の努力によつて準備されたいろ／＼の資料もある時間には多すぎてうまく活用されていないものもあつた。

ハ 方法について

目標達成のために教師があせりすぎて教師の活躍面が多く児童の活動が見られず、ことに靜的な感じのする授業が多く物足りなかつた。

教師の態度は實にやさしく一年生の擔任にはふさわしい態度であつた。

能力別指導の取扱には大いに考えさせられるところがあつた。

ニ 其の他

一年生の學習活動の基礎のどこかに保育効果を求めていた私はがっかりした。クラスの中に四分の一位の保育修了者では一年生の先生も保育の効果を認めるどころか、時には保育修了児童にとつては毎日の學習がかつての幼稚園生活に比べて大きなギャップのあることを考えてやらねばならない現状を

目のあたり見た（ここでも公立小學校に必ず幼稚園を附設したいと痛切に感じた）幼児の心理的な動きに、又個人差に細い心やりを持つて接している私共にはあの能力別指導に表はれた優生の活動には物足りなさを感じ、又劣生の中のグループには「可愛いそうに」と低學年の能力別指導のむづかしさを痛感した。

見せる授業として計劃されたものであるから止むを得ないと思うがあれだけに準備されたよい環境の中で、しかも教師は音楽にも園工にもすべて堪能のように見受けられたのに結果としては児童の持つている知識や技能を充分發揮して活潑な活動をする場面の少かつたのは非常に残念に思われた。

手前味噌の事を云ふならば、あの整理された環境の中に「よい保育」をうけた児童が23人も入つていたらならば學習活動の基礎ともなつて、優生は優生なりに一人で學習活動を發展させて先生を喜ばせ、又劣生も優生を環境として劣生なりに力一ぱいに活動して劣

等感を感じないので學習を進めて行かれるだろうに……しかもこうした保育効果が小學校の低學年の先生方によつて認めていたゞけたらどんなに嬉しい事かと四日間の授業にいつも〜夢見ていた事ではあつた。

◎ 參觀記

イ 環 境

（日の出學園幼稚料）

園の内外共に實に恵まれた環境である上に先生方の努力による細い保育室は勿論、玄関、便所に至る隅々まで行き届いて幼児にふさわしく整理されていた。

□ 目標と幼児の活動

一年生の授業で物足りなさを感じていた私はこの幼稚園で嬉しい情景を見た。幼稚園の者同志といふ感じが手傳つているかも知れないがこれは一緒に參觀された十數名の小學校の先生方からも參觀後のデイスカッションに發せられた言葉である。

先生と幼児が常に目標を實踐にうつ

して共に生活していた（遊びは勿論、ぞうきんがけから仕事の用意又後片づけ等）

幼児一人一人が自分の意志でいろいろの選びを見つければ材料を選んで作業をし、しかもそれが各組々のかげの目標の生活に結びついていた。

出來た製作品を見て（時計、つばめの巢等）ありありと幼児の手になる創作といふ感じを受けるものが多く、つばめの巢の中には無造作につまんだつばめのくちばしと思えるほほえましいものもあつて、その中のいくつかが着色されて各保育室の入口の上の方にせられてゐるのも嬉しい事だつた。

これらにも増して私の心に深い感銘をあたえたものは次のようなことだつた。

いろいろの遊びが一段終つてから、一同遊戯室に集つて新しいリズム遊びが行われた後四組の幼児がだん／＼と各組え、又玄関へ歸つて行く爲に各組から一人の幼児が出て來て自分の組の友達のためにピアノをひく。歩く友誼

は皆ピアノに合せようと努力する。しばらくするとびつたりピアノのテンポと幼児の足、拍手が氣持よく揃う、他の組も次々と同じように友達ひくピアノに合せて手拍手と正確なテンポで上手にあるく(左手は三和音の簡單なマーチ)年長組三組が楽しそうにだんだんと遊戯室から出て行つた後で年少組が残り先生も年少組ではと思つて一寸ためらつた先生が一應皆にきいて見た。すると一人の女兒が「先生わたしひけるの」と云つた、先生目を見はつて「あなたひけるの」ときくと自信たつぷりな「うなづき」を見せたので先生も嬉しそうにピアノの椅子に腰かけさせた。「どこをひくの」ときいたらしく、先生は右手をハ調三和音のキーの上のせてやつた。やがて三和音だけの音がリズム正しく聞えて來た。すると年少組幼児もピアノに合せて歩き出した、何のメロディーも聞えないリズムだけのボン／＼ひびくピアノの音に合せて元氣よく歩いた。先生はいそいで拍手をしてピアノのリズムを助けた、先生

の拍手、子供の足、三和音だけのボン／＼ひびく音(右手だけで左手はぶら／＼していた)が合致して何と愉快なことか私は思はず拍手を送つた、見ていた參觀人一同がどつと拍手を送つたのでびつくりしながら小さい人達は嬉しそうにだんだんと去つていつた。

低學年の音樂教育がとかく結果にのみ夢中になつていてその指導過程を考慮をせず子供の心理を無視した取扱いをされていることに不満を持つている私にはこと更此の先生の取扱ひに感じさせられた。子供の生活の中に自然と流される音樂的生活が積り積つてこんなにも正しいリズム感が出來たのか、又特別な音樂的環境におかれてゐる幼児達なのか、幼児の新しい音樂教育がどのようにあらねばならぬかと、その目標について實際の取扱ひについていろいろの研究する機會を持つた私にはこの場面が「音生活を生かす程度」と願つていた一場面の生きた參考資料として私を喜ばせた。

先生がしつかりした信念を持つて保

護者を指導してゐる事も大きな喜びだつた。雨の日にも玄關を出てしまふまでは絶対に手をかさないうで外で待つてゐる母親達、しかもこの日は參觀の爲に大變時間がおくれたのに長い間一定の場所に待ちつゞけた母親達は絶対に信頼感の持てる教師の日頃の態度がうかがわれた。經營の事を考へてとかく自分の教育信念をもまげて保護者の盲目的な愛情に迎合してゐる保育者もあるときく時まかせた以上は絶対に信頼感を持つて預け得る先生である爲にかくも徹底した保育が行われて、かくも澤山の保育効果をあげてゐるのだと思ひ、ユワーズ先生の講演にあつた「よい教師の條件」をもう一度考へて見た

第一學年（A組）學習指導略案

六月十四日（水） (9.30-11.00)		六月三十日（火） (9.30-10.30)		日時
音	國	社		教科
樂	語	會		單元又は題材
小石あそび	のりもの	市川の乗物		目
<p>○簡易樂器に合せて楽しい小石遊び を行い、遊びの中に拍子聞きわ げる ○二拍子、三拍子、四拍子をきくわ ける</p>	C	B	A	<p>○乗物にはいろいろな種類がある ○電車の乗り降りができる ○仲よく協同してやる態度を身につ ける</p>
	文字表現、言語表現力をつける	物と文字を正しく結ばせる	繪本にしたしみをもち、大切に 利用する觀念を植えつける (以上略)	
<p>○知っている歌をうたう ○小石あそびのグループを作る ○樂器のグループを作る ○歌にあわせて遊ぶ ○交代してやる 今迄にやつた歌や遊びをする 反省</p>	<p>○繪を見て文字表現をする カード合せをしてから文字表現 反省</p>	<p>○繪を見て何であるか發表—指導 繪カードと文字を合はせる 色ぬりと糊つけ</p>	<p>○乗物繪本を見る 繪本について話し合う—指導 ぬり繪</p>	<p>○乗物の繪や知っている乗物につい て話し合う ○玩具等であそぶ ○繩の電車ごっこをする ○いろいろな音を出して ○動物園に行く ○順次改良してごっこ遊びをする ○反省と次時えの關連 もつと面白くやるにはどんなもの がいろいろあるか</p>
30分	60分		60分	時間
同	同		篠崎二郎	指導者
右	右			

六月十七日 (土) (10.00-11.00)	六月十六日 (金) (9.30-11.00)			
社 會	園 工	算 數		
市川の乗物	どうぶつえん	のりもの		
<ul style="list-style-type: none"> ○電車には切符を見せてのる ○電車には一列に順序よくのる ○中へ入つたら入口に立たないようにする ○電車は驛長さんの指圖による ○車掌さんは驛長さんの指圖による ○降りたら出口で切符をわたす (以下略)	<ul style="list-style-type: none"> ○自由に動物を選んで工夫表現させる ○材料に親しんで面白くよるこんで作る 	C 時計の見方を知る	B 個数が12までの具體物を教えた り書いたりする	A 個数が6までの具體物を教えた り書いたりする
		<ul style="list-style-type: none"> ○役割をきめて持場につく ○切符をかつて電車にのる ○驛長は時計を見て發車合圖 ○動物園にいつて動物を見る ○電車で歸る ○學校へ歸る ○交通巡查の指圖に従つて ○紙芝居 ○感謝の歌をうたう 反省	<ul style="list-style-type: none"> ○粘土配布 ○よくねる ○自分で練ながら何を作るかきめる ○人のまねをしない ○出来たら動物園に入れる 反省	時計を作る 自己の生活に關係ある時間に針をあ わせる 反省
60分	30分			60分
同	同	同		
右	右	右		



子 供 讚 歌 (二二)

倉 橋 惣 三

一 一 歸 國

1 留 守 宅

船は歸心を載せてマルセーユを出る。多少ともユーロツピヤナイズされた目に耳に、再びオリエントを蘇らせる港々の航路は、いきなりハワイ、サンフランシスコ、サンタフェー急行で米大陸を横断してシカゴ着という往路よりは旅ごころを味いこまかくする。連れのないキヤピンの夜は、留守宅の夢ばかりである。

彼の旅愁を慰めるための妻の手紙によると、小學生になつた長男は、お父さんは洋行でえらくなつて歸るといつてゐるそうだ。(苦笑)。茶目の次男は、お父さんが八十錢の練瓦のお家をお土産に買つて来てくれるといつてゐるそうだ。(微笑)。末の娘は、おとうちやんがいない、おとうちやんがいないといつてゐるそうだ。(微笑)。おばあちやんと、おかあちやんと、おうちやんやおばあちやん達に可愛がられて、楽しい日を送つてゐる一人々々が、出發の時の顔に生長のXを加えて、目の前に浮んでくる。父の旅を家庭教育の空白期と考える一方、母がいれば子供の幸福はあるものとも考へる。それからまた、常にはいつしよにいなかつたおばあちやんというものに、どんなにか親しんでゐることだらうとも考へる。

それにしても、父の死後を過ぎること年餘。一人子の彼が旅にゐることは、母の心を淋しくしてゐるに相違ない。時折り二階でお獨り三味線を出してひいていられますという音信の一節は、小柄な母の座り姿を想わせる。母は針仕事好きの人であつた。彼が一番しみ／＼と母を想うのは、靜に座つて縫いものをしてゐる母のなで肩である。その

古風な針箱の側には、その時々々の年齢の自分が寝ころんでゐる。その針箱の抽出しから、母が彼のために自分で焼いた醬油の香の高いカキモチが取り出された思いもある。針仕事が好き、カキモチを焼くのが上手だった母は、髪を結うことも得意で、好んで妻の頭をいぢつて興じたりした。そういう一面に母はまた學問の好きな人であつた。彼が女高師に奉職してからのこと、『今だつたら私も女子高等師範學校の生徒になつたがね』と、屢々笑いながらいつたりした。母にどれだけの學問があつたのか知らないが、彼の小學生時代、いつしよに湯にはいると、立てかけた風呂の蓋に、ぬれた指でいろんな字を書いて、字劃の話をふざげ口調でしてくれた。山はまんなかゞ高く、川は下に流れるとか、一して矢してひつかけて、ル又の下に、西を書く(醫)といつた類だ。それから、彼は随分おおきくなつても、母といつしよに寝た甘つたれ坊やだつたが、そんな時の楽しみは、靜かな聲で暗誦して聞かせてくれる詩文の語句だつた。その中には、『ベンセイシユクシユク』があつた。『ツキオチカラスナイテ』があつた。そうして、アカツキニミルお煎餅ではないんだよとか、キンザンジつてお味噌ではないんだよとかいう笑註(?)が幾度も繰りかえされた。後で考えると、四書の中の短い言葉などもあつたが詩の方が多かつたようだ。漢詩と共に加賀の千代の『朝顔につるべとられてもらい水』とか、信濃の一茶の『やせ蛙負けるな一茶ここにあり』などの發句を、子供ごころで愛誦したのも、床中教室の楽しいレッスんだつた。母は必ず加賀のとか、信濃のとかいつた。昔風にそういう癖になつていたのだらう。それからまた、父の父は江戸俳壇の其角堂永機宗匠と懇意な俳人だつたし、母の父は幾つかの歌集を自己出版した歌人だつたし、その中のものを母から聞かされたことも度々ある。

この地味な母が三味線を嗜むようになったのは、全く父への同調であつた。そうして、後には文樂の太夫をよんだり、哥澤の家元に稽古をつけてもらつたりして、すつかり大天狗になつていた父のふだんのエキササイズには、フトでもホソでも立派に相手をしていた。——ひとりになつてからも、とき／＼、手なれた撥を取り出したのも、たゞつれ／＼のすさびというだけではなかつたのであらう。

お琴よりもシャミといつた好みの中に育つて、彼の環境は少くとも外觀ストインズムではなかつた。指に撥だこのある師匠株のばあさん藝者たちが、いつも出入して、ちよこなんと座つていたし、若い妓の陽氣を笑い聲も聞えた。父は、その連中に、座敷外の息ぬきをさせてやるといつた大通な態度だつたし、彼等は、父のいない日でも常に母のところへ遊びに來た。母もその人達に、くろ／＼としてでなく、それ／＼ゆきわたつた迎え方をしたから、彼等も若

い母に禮を守つて親しんでいた。又、幼いおぼつちやんの上手な遊び相手にもなつた。こんな環境が彼のために特によかつたということは勿論なからうが、そういう人達を、なんでもない目で見るようには慣らされた。後に軍隊に入つた時など、宴席でそろりメチヘンらに對する田舎出の若い少尉たちの異常興奮が不思議な位だつた。これは一種のマヒの心理學で説明されることも知れないが、そういう女達をなみの人間として見ることに慣らされていたのだと彼は自分を解釋している。そんな譯か(??)、少くも幼時のそういう環境のために、格別道樂息子にもならなかつたし、その反動というのではないが却て野暮な青年になつた。とにかく、彼の家庭はモラリスチックよりも人間なみだつたといえるかも知れない。そんな調子だつたから父母が劇場や寄席へゆく時も、よく彼をつれていつた。それも、父の好みから、所謂團菊左の外に、當時の團藏とか歌六とか源之助とかの濞い舞臺が多く、圓喬や小土佐や橘之助の高座が多かつた。決して、兒童藝術教育とはいえないものだつたが、高等學校や大學で、キザな連中のナマな劇通やドロ臭い江戸趣味論に仲間入しなかつたのも、こういう教養(?)の下地のせいだつたかも知れない。とにかく、(幾度もとにかくで片づけるが)彼の家庭は警戒教育よりも、あけつびろけた親子共樂主義だつたのである。彼は後に、モラリストの家庭の子弟の墮落例を聞く毎に、教育的環境學も簡單な原則だけでは、片のつかないものがあるらしいと、首をかしげつゝ、我が父母の、教育的神經質でなかつたことを思いだすのである。

教育的に神經質ではなかつたけれども、その生活の實際からは印象づけられたことがある。父は人に負けることが嫌いで、そのために家庭生活も派手好みだつたが、金錢は惜まないけれども、物は粗末にしないことは極端な程だつた。紙ぎれ一つ大切にし、古いものでも使える限り捨てなかつた具體例は、それを訓えられたり強いられたりしなかつただけになお印象させられている。それから、國の祈祭日の尊重は家の行事として堅く實行せられ、一度だつておろそかにされなかつた。母は、自己に克つ性格の人だつた。前にいつたような家内の生活に拘わらず、進んで社交を好むというのでなかつたけれども、如何なる時にも人を輕べつし人をみくびるといふことが決してなかつた。それから家の祖先の目をよく重んじた。いつも母がかつぼうの手腕を振つて、一家を喜ばせたのは、その日であつた。

とにかく(もう一度)母は、どこまでも我が家の母だつた。父の趣味に同調して三味線を勉強した母は、彼の一人子の青年期の宗教經驗に同調して、自ら進んで聖書を讀む人となつた母でもあつた。その母が、今は孫達に同調していつしよによく相手して下さると、妻のたよりにいつも書いてある。

コロンボ……シガンポール……香港……船は刻々、留守宅に近よつていく。

2 「日本の子供」

彼がロンドンにいた間、ブラツセルで開かれる世界児童保護會議に、日本代表の一人として出席するようにとの電報を、文部省から受けとつた。ベルギー皇帝の謁見があるというプログラムに必要な服装を急に用意して出かけた。若造の得意的喜び察すべきである。そうして、その會議のために派遣せられて來た内務省と司法省の二人の役人といつしよに、大きなホテルから豪華な會議場へ通つた。そのホテルのバルコニーには、鮮かな日章旗が立てられていた。氣品の高いベルギー皇帝は握手を賜つた。若きデレグートの緊張思ふべきである。その得意と緊張は愛すべきヤングマン心理のことだつたとして、とにかく彼にとつて新しいことであつた國際會議という經驗から、會議の目的そのものは別にして、彼自身のためにどういふ新しいものが得られたらうか。得たというのも、おおきよう臭いが、『日本の子供』という考えを強くされたのである。今までにしても、彼の關心をもつた對象が日本の子供だつたには相違ないが、更めて『日本の子供』の具體的把握(自分でもよく分らない言ひ方が)に強く導かれたのであつた。

誰れでも、外國に出て自國のことを思いなおすのは普通らしい。彼も、秋のスイスの美しい空の下、ジュネーブの國際連盟本部の前の湖畔に立てならべられている萬國旗(連盟諸國旗)の中の日章旗に、日本で見なれた日章旗とは別の感慨をそゝられたことがある。しかしこの會議ではその場合とは少し違ふ。頻りと日本の子供が戀しくなつてきたのである。父の訃音以來、聊か懐鄉的になつたのか、子供さえ見れば、留守宅の子らを思ふ彼の狭い心に、『日本の子供』が浮かんできたのである。それも關心の抽象的對象としてではなく、あの町の子、あの村の子、あの遊び方をしている姿、あの歌をうたつてゐる聲の、日本の子供の具體的群像がなつかしくなつて來たのである。チャイルドといふ、アンファンといふ、キングダーといふ各國代表の發言を聞きながら、こどもと日本語でいつてみたいような氣さえ湧いてくるのであつた。妙なものである。

歸國後の彼が、駄菓子屋の調査と紙芝居の研究と、もう一つ、農繁期託兒所の唱道とに凝つたのも、どこかに、ブラツセルでの『日本の子供』への思いにつながりがあつたのかも知れない。

こゝで駄菓子屋というものは、裏町の長屋の間などにある小さい店で、その店さきには、マメイタ、ゴマネヂ、クロダマといった江戸傳統(?)の駄菓子と、細い竹筒入りのゼリーや、粗末な硝子びん入りのミカンスイなどが列べてあり、その一隅に、黒い鐵板が油光りするモンヂヤキの大火鉢を据えて、多くは髪の毛のうすい年増の『オバサン』か目のしよぼくした『オーバーチャン』が、うどん粉を掻きまわしてやつている。狭い上りがまちの土間には、小さな草履や赤い下駄が、重なりあつて脱ぎ散らしてあり、大勢の子供が、ニツケを嚙んだり、鹽豆をポリ／＼させながら、がや／＼と騒いでいる。實に楽しそうである。全くほ／＼えましい街の子供クラブの光景である。たゞ、その非衛生條件は、協同調査の醫學博士の警告を俟つまでもなく憂慮にたえない。尤も、彼の屢々探訪したのは京橋月島一帯で、そこは東京で小兒死亡率の高い(當時)地區として選ばれたのであつたが、この點は決して此邊に止まる問題ではあるまい。『日本の子供』(當時?)が蒙つている全般的不幸の大問題である。是非徹底的管理を要するね、と常に協同調査者の醫學博士と話しあつたことだが、それはクラブの問題で、クラブの本質的問題ではないねとも彼は附加えた。彼は駄菓子屋の『オバサン』や『オーバーチャン』を、決して理想のチルドレンスクラブマネージャーとは思わないが、クラブ員たちが、少しも氣がおけないという點は、クラブとしての要件を具えしめている。それが、その人達が子供すきなためか、或はそれを超えて、まるで子供のような人であるためかは分らないが、管理の徹底で、いゝクラブだ氣のおけるところということになつては、街の子供クラブの本質を奪うかも知れない。彼の調査(?)は、どこまでも子供のものとしての街の駄菓子屋の一認識(?)にあつた。

そういう『一文菓子』に對して、『一錢おもちゃ』と呼ばれるまゝに、駄菓子といつしよに列んでいるものは、小もの玩具である。メンコ、ベイゴマなどを古顔として、ブリキの豆汽車や、可憐なま／＼と道具の類が、子供の指に取りあげられるのを待つている。同じ小玩具でも伊勢勸風の精巧なママ雛とか、温泉土産などで見る器用な細工玩具は、おとなの趣味玩具だが、こゝでいう小もの玩具は、それらとは別である。ゲテモノ風でいてゲテモノのひねくれもなく、安ものでいて安ものゝ下卑たところもなく、高價玩具のような勿體ぶつたところもなく、所謂教育玩具のように利口ぶつたところもなく、どこまで無邪氣にハンブルに、いわばおもちゃといつた風の氣らくさまで、街の子供クラブの興をそえている。

彼は、こういう小もの玩具を、理想の兒童用品とは思わない。しかし、これも一つの『日本の子供』のものとして

その研究のために、神田町の裏通り(當時の)に軒をならべている小物玩具専門の問屋にひとしきり通つた。そうして、このブチクンストが如何に大量生産の商業になつてゐるかに驚き、その悉く廢物利用である製作工程に感心させられた。そうして『日本の子供』の玩具が、京都の人形や、銀座のトイズのような、アリストクラチックのものばかりでないことを詳かにしたのであつた。少くも、街の子供クラブの氣安さには、値段の安さだけではない、こういうものが附きものであつたのである。彼が後に文部省や各協會の玩具展覽會の審査員として、必ず小ものおもちやの陳列を提言したのも、玩具に關する彼の著書に、小もの玩具の一章を忘れなかつたのも、その結果である。

紙芝居は、まだボツ／＼出始めの時代であつた。社會的な注意もひかれないし、識者先生方も默殺(見落し)してゐた。が、『日本の子供』は、自分達のために發明されたこの日本独自の街のプロレタリアート・レクリエーションを見のがすには、餘りに娯樂に空腹であつた。彼は、その子供と共にというよりは、その子供群の中に交つて街の辻に人寄せの拍子木を追い、夕焼の原つばに立つたものだ。紙芝居屋のニイチヤンの中には、この變な紳士に警戒の目を見せるものもあれば、特別の來賓に一段とセリフを張り上げるものもあつた。彼は一應は前方でステージとストーリーに注意し、次には横から子供達の反應を見るところ順序で二回も三回もつゞけて見物した。そんな時には、五十錢の銀貨をフンパツして、餘はいらぬからと斷つて、特につゞけ見の許可を乞ふことにした。時には、この移動舞臺にくつついて歩いて、目の都の西ぞらに没するのを忘れたりした。子供たちもおかしな思つたことだらう。どうかすると、巧みなコワイロ附きの歌舞伎狂言におつかつたりすることがあつて、小觀客よりも紳士の方が面白がつたかも知れないが、外題は決していゝものばかりではなかつた。

彼は終に紙芝居やさんの一人に教えて貰つて、淺草の元締の家を訪ねることにした。初めにはげんなおももちで迎えられたが、彼は格子戸の中に腰を下ろして、そのあからがおの男に挨拶をした。そうして、來意と共に、皆て子供のための人形芝居について結城孫三郎君を訪問した時の話から切り出した。二回三回と訪問が重なるにつれて、こつちのいうことだけは、よく分つてくれたのであつたが、それがある程度で尻切れとんぼになつたのは、つまり彼の熱心が足りなかつた爲という外はない。彼は後に日本教育紙芝居協會の一員として、版畫紙芝居の企畫に當つたが、實は教育なんて銘をうたないで、たゞ『日本の子供』のものとしての紙芝居を仕上げ度いのが彼の希望であつたのである。彼は街の紙芝居や達の多くが餘りに低級なのを遺憾としたが、その人達が自分も楽しみながら人形を動かしかし口

演している様子を見ては、これではいけないといつも思つた。自分自身には少しも楽しくなくて、たゞ、子供達のためという教育的態度だけでは、小なりと雖も舞臺藝術は成功しない。元締と話している間に、『あの若い者はみんな、自分で紙芝居が好きでたまらん奴等であら』といつた短い言葉は、いつまでも彼の頭に残つてゐる。

駄菓子屋、紙芝居とは性質を異にするが、彼の歸國後の熱心に力を注いだものゝ一つだつた農繁期託児所の唱道も『日本の子供』のために日本が生み出したものであることにおいて一つであつた。勿論彼の創案でも創設でもない。岡山縣その他に先覺の先驅者があつたのだが、しかし、『日本の子供』特有の要求である此の施設は、當時まだ少しも普及していなかつた。それは都市の幼稚園とは勿論、工場地區のナーセリーともドイツの田舎にあるフォルクス、キングダーハイムとも違つて、農業日本の子供のものである。農繁期毎に放置せられ、水田や古井戸に奪われる日本の農村の幼児達のために、幼児教育の原理は暫く後として、差當りの必須の急務施設である。理論もない簡單なことだから、廣く普及しさえすれば唱道の用もないのだが、それまでは急いで唱道しなくてはならなかつた。彼はそのため幾つかのパンフレットを書き、機會ある毎に説いて廻つた。學問でも論説でもない。『日本の子供』の現實の急問題だから。

街の駄菓子屋も、紙芝居も、農繁期託児所も、純日本的なものである。暫くは新歸朝者といわれて、輸入業者の仕事に追いまわされた彼が、實は心から興味をもつたものは、これらの眞正銘メード イン ジャパンのレットルであつたのである。

幼 兒 の 健 康 保 育 (五)

お茶の水女子大學助教
愛育研究 所員

平 井 信 義

五、 視 診 と 病 氣 の

早期發見(つゞき)

視診も既に三回目となりました。いろいろな症状を見て、それが何の病氣であるかを決めるのは、なかなか困難な面倒なこと、お思いでしょう。そう思つて下さつて結構、私共醫者にとつても、しばしば難しいことがあつて、油断をしたり勉強が足りない、所謂「みたてちがひ」をすることになるのです。そこで皆様にお願ひしたいのは、病氣の診断ということではなくて、一つの症状についても、本當に複雑な洞察を持たなくてははつきり診断がつかないことをわかつていただきたい。――例えば、皆さん方で胃が痛むという場合、皆さん方は何の病氣をお考えでしょうか、恐らく簡単に胃カタル・たべすぎなどとお考えでしょう。然るに、私共は、胃の病氣の他に、肝臓の病氣・脾臓の病氣・腎臓の病氣・大腸の病氣、その

みか皆さん方が盲腸炎といつてゐる虫様突起炎のことも考えながら診察をするわけです。而も内臓そのものには痛みを感じないで、神経という電線を通じて皮膚で痛みを感ずるので、その電線は實に複雑に張り廻らされています。ですから、一つの症状といつても、その由來は決して簡單なものではなく、複雑極まりない我々人體のからくりを、そこに認めていたゞきたいのです。

今回はくびの腫れた場合について考えてみませう。

その代表はおたふくかぜ即ち流行性耳下腺炎です。病名の示す様に流行性でありますから、ばい菌によつて次から次へと傳染いたします。そのばい菌はウイルス即ち濾過性病原體であります。侵入門戸は、飛沫によつて呼吸器からと想像されていますが、未だはつきりしませんから、接觸は危険であります。

腫れる場處は、淋巴腺でなく、耳下腺といつて、我々の唾液を出す場處であります。従つて耳のつけ根が腫れ、兩側が

腫れると、恰度おたふくの様になります。

腫れる一〜二日前は、機嫌が悪るかつたり食欲がなかつたりすることもありますが、腫れて来てから初めて気が付くことも多く、そんなとき、幼稚園・保育所へ子供はやつて来てしまうのです。

すつかり腫れてしまえば誰にもわかりませんし、本人もその場所が痛んだり、口をあけたりものを噛むときに痛がることでもあります。熱は、二〜三日三八度程になります。間もなく下るのが普通です。熱が下ると子供は平気で戸外に出ますし幼稚園・保育所に行きたがつてせびるので、他人の子供を考える母親でも、それに負けて、つい出してしまふ、ということになるのです。

うむ様なこともないし、餘病も出ないし、従つて特別の治療などいらぬのです。濕布をすゝめる位でよいでしょう。稀に罌丸が大きく腫れて痛むこともあります——之も稀であります。

然も軽い病氣だからといつて、人中へ出してよい、という考え方は絶対に捨てなければなりません。僅かな災害でもそれが子供たちにとつて災害である以上、一人でも少く、一人でも軽く、と望むべきであります。「もう元氣であればれているから」と母親がいつても、「學藝會だけでは是非出したい」と母親が言つても、腫れがすつかり引くまでは矢張りきつぱり斷つて、その意味をよくのみ込ませたい。それには人格のある保母さんの眞剣な應答がどんなに強いことでしょ

う。

子供は一般に全身の淋巴腺がはれ易いもので、之は體質のお話しをする時に詳しく申述べましょう。

然し何でもかんでも、くびの淋巴腺が腫れば結核性のものではないかと心配する必要はありません、結核性かどうか心配ならば、首の淋巴腺を眺めていても駄目で、必ずツベルクリン反應を試してみなければいけません。それで陰性ならば、結核のことは頭から捨てゝもよいのです。ツベルクリンが陰性なのに、首の淋巴腺がはれているから、結核ではなからうかと心配するのは全く馬鹿げたことです。

急にくびの淋巴腺が腫れたときは、むしろ鼻やのどにカタルがあるとか、虫歯や歯ぐきに炎症があるとか、或いは全くこれという原因が見當らない様な口の中の傷のときさえあります、そのいずれから化膿菌が入つたために起るものであります。

淋巴腺というものは、ばい菌に對する砦とりでで、その淋巴腺が統制している場所のどこかにばい菌が付き、そこでの戦いで人體が敗れると、ばい菌がリンパ道を通つてこの砦に攻めよめます。そしてこゝで大きな戦いが始まるのです。指を怪我して化膿しても、腋の下わきののリンパ腺が張れ、足先が化膿しても、もゝのつけねのリンパ腺が腫れて痛みます。之れは皆はじめの戦に敗れリンパ腺という砦における戦が始つたことなのです。又その様な化膿の場處が見當らず、こんな小さな傷、と

思つたところからもばい菌が侵入し、リンパ腺だけが意外に大きく腫れることもあります。

リンパ腺がはれた時には、その程度にもよりますが、矢張り安静にした方が癒りが早いです。放つておくと、自然吸収されることも時にはありますが、次第に腫れがひどくなり、痛みも増し、だん／＼膿み方がひどくなります。遂に中が軟化してくると、切つて出さなくてはなりません。或いは血管にそれが破れると敗血症になる危険もあります。

そこで、はれた場處を冷やす他に、ゾルフアミン剤の内服やペニシリンの注射を行つて、ばい菌を亡ぼすことを考えねばなりません。それは必ず醫師の指圖によつて行ふ様すゝめましよう。

因みに申添えますが、猩紅熱やジフテリアの経過中にリンパ腺が腫れゝば、それは非常に重症だと考えなくてはなりません。

慢性にいくつかのリンパ腺が大きくなつて來てるときには、やはり、結核性のものを考えなくてはなりません。然し先程も申した様に、いくら澤山のリンパ腺が腫れているとしても、ツベルクリン反應が陰性である場合には、結核とは未だ縁がないことの證據ですから、心配は無駄であります。

結核性の場合には、とくに鎖骨のうえのリンパ腺に引續いてくびのリンパ腺が腫れています。やがていくつものリンパ腺がくつ／＼き合うことも特長となります。醫者によく診てもら

つて、安静なり、薬なり、手術なりを決めることが大切であります。之は結核のお話をする際に詳しく申述べる豫定です。

子供は、何とも異常がなくても、リンパ腺がはれ易い、と申しましたが、その著しいものをリンパ體質と呼んでいませう。之については體質のところでお話いたしますが、この他に重い病氣で白血病というのがあります。比較的稀な病氣ですから、名前だけにしておきましょう。

以上で首のはれてゐる病氣についてのお話は終ります。

次にのど及び口の中を見ることについて一言申したいと思ひます。

のどを見ることなどは醫者の役目だ、と見限らずに、子供の仕事をしている方々は、どうかこれに慣れておいて下さいといふのはこれによつて、いろいろな病氣を早く見つけ出す手懸りとなるからです。口の中やのどの變化が、どの病氣に該當するか、といふことは、さう一生懸命になる必要はないでしょう。たゞ口の中のどの變化を見つけ出して、それを醫者に報告し、その變化が何であるかを診てもらふことが第一です。

熱つばい子供に口をあけさせてみて、のどが赤ければ、その熱は一應のどのものだ、といふことがわかります。扁桃腺に白いものがついていれば、それはジフテリアか膜窩性アンギーナでしょう。又内頬にとか舌、上顎に白いものがついてるときには、驚口瘡を考え、はしかの流行しているときに

は、コップリック氏斑を早く見付けることになるでしょう。ジフテリアとかはしかは、早く発見されればされる程本人にとつても、他の大勢の子供たちにとつても大切なことは、繰返し述べて来たところ です。

のどを見るには、あかるい方に子供の顔を向けて、舌^{ツバ}を



扁桃腺

扁桃腺
咽頭

舌

れば扁桃腺炎となります。こゝに白いものが見えれば大問題ジフテリアを疑うわけです。上からたれてるのが懸垂垂、俗にいうのどちんこです。のどちんこの裏側から鼻に通じていて、御飯をたべながらむせたりすると、鼻からご飯粒が飛び出すのは、この様にのどと鼻とが通じているためです。のどの炎症ははなにも及びますし、はなの炎症ものどへと下つて来ます。

又、見えない部分ですが、咽頭の上の方から、歐氏管を通

(割箸でも匙の柄でも何でも結構)で舌を強くおさえますと、子供はえつと吐きそうにしますから、その機を利用して光をのどの奥にあてるのです。つき當りが

咽頭で、こゝがはれていれば咽頭炎、左右から梅干の種のようなものが飛び出していれば、これが扁桃腺、そして大きくなつて脹れてい

れば、これが扁桃腺、そして大きくなつて脹れてい

じて中耳えとつゞいていますから、のどの炎症は之を通じて中耳に及び、こゝに中耳炎を起すのです。従つて中耳炎は風邪をひいたときに起り易く、外から水がはいつたとか、耳かきでかいたために起るのは、外聽道炎であります。

ついでに耳のお話をしておきますと、外からわかるものに耳たれがあります。之には中耳炎で中耳に膿がたまり、それが鼓膜を破つて出て来る場合もありますが、この際には大抵先に熱が出て耳がいたみます。熱がなくなつて耳から分泌物が出て来るときは、體質によつて耳垢のゆるいことが多いのです。この場合には手當がいりませんが、この他に外聽道の濕疹だつたり、出来ものが破れていたりしますから、必ず醫者に診てもらふことを、すゝめる可きであります。

どうも耳が遠い、ぼんやりしている、呼んでも返事をしない、というときは、鼓膜とか中耳、内耳に故障のあること、又アデノイドのことなどがありますが、耳垢がすつかりつまつてしまつていることもあります。之も醫者でないとな上手にとれませんから、兎に角醫者を訪う様にすゝめましよう。

いつも鼻をたらしている子供は、慢性の鼻炎か、鼻汁が青いときは副鼻腔炎即ち蓄膿症の始まりであることがあります。とき折、鼻血が出て、鼻孔のまわりがたゞれている様なときには、鼻のジフテリアを疑わなくてはなりません。鼻のジフテリアは熱もなく、自覺症状が全然ないことが多く、鼻汁を検査してはじめて判ることがあります。

鼻をいじつて赤くたゞれてゐる子供については、くせのお話をする時に述べましょう。鼻聲である子供、一寸したことにも鼻血を出し易い子供、鼻がつまつて困る子供——之らに就いては、早く専門の醫者に診てもらふことにしたいと思います。

顔色の悪い子供については、貧血を考えなくてはなりません。一と口に貧血といつても、その子供全體として赤血球が少い場合、赤血球は普通だが、その中の血の色を作つてゐるもの(血色素)の少い場合、赤血球も血色素も少い場合——この三つを醫學的に區別しなければなりません。これは耳朶から血液をとつてしらべるわけですが、大體次の様なことを考へる必要があります。

第一には食餌に鐵分やビタミンが不足してゐるときです。備食の強い子供に見られます。鐵分・葉酸・近頃問題になつてゐるビタミンB₁₂などの多いほうれん草や肝臓を食べる様にすゝめてみましょう。之らは又、他の貧血に對しても効力があります。

第二には十二指腸虫が寄生してはいまいか、檢便をしてもらうことです、小さな虫ですが、貧血にづい分強く表れ、結膜は白々として來ますし、元氣がなくなり、胸がドキドキしたり、むくみが來ることもあります。爪ももろく、割れて來ます。くわしくは寄生虫病のところでお話しますが、……。

第三には、血液をしらべても別に異常のない場合で、之は

體質によるとも考えられ、皮膚の血管が細いか少いか、或いは透明度が減つてゐるためです。こうした子供は疲れ易く、手足が冷く、平生から少食で、神経質だ、といわれる様な子供です。

又、日光の不足してゐる、よごれた空氣の中で、不潔な生活をしてゐる子供は、皮膚の鍛錬が出來ず、血管が收縮し勝ちで、血液は自然内臓の方に集つて、皮膚には血液の流れが少くなるのです。このことは貧乏な家の子供に多いと同様に深窓に育つて日の目を見ない子供にも見られることを忘れてはなりません。

その他、結核・梅毒・腎盂炎、目に見えぬところからの僅かな出血、——之らでも貧血が起りますから、必ず醫者のくわしい檢査をすゝめることにしましょう。

以上で視診による病氣の發見についてお話ししたわけですがあなた方保母さんは、子供の生活の半分を導いてゐる方々でありますから、以上お話しした分の知識は是非持つていただき子供のよき保護者であると共に、母親のよき助言者であつて欲しいと思ひます。

次回は清潔度についてのお話に移ります。

文部省科學獎勵金受賞研究者の發表

文部省では毎年、幼稚園、小學校、中學校、高等學校の教職員の中、有爲な科學研究者に對して研究のための獎勵金を出しておつたが、この昭和二十五年度における受賞者の發表があつた。そのうち幼稚園關係者は左の通りであつた。

一、三歳兒の幼稚園教育について

1 研究者等

研究者 奈良女子大學奈良女子高等師範學校
附屬幼稚園
共同研究者 右 同
教諭 長 屋 サ ト
教諭 兒 玉 ち ゑ
教諭 大 澤 須 美 子

指導者 右 同
主事 小 川 正 通

2 研究の目的

學校教育法においては、三歳をもつて入園命令と定めてゐる。しかるにわが國の現状においては、いまだ三年保育は一般に普及してゐるとはいわれない。したがつてその研究も殆んど見るべきものがないようである。三歳兒教育をここの數年研究的な意味で實施してゐる當園では、次の目的でさらに研

究をすすめる。

(1) 三歳兒の集團生活の可能性並びにそのあり方を究めること

(2) 三歳兒教育のカリキュラム及びガイダンスの方法を明らかにすること

3 研究の方法

(1) 三歳兒の遊び(遊戯)の形態について、科學的な實態調査をすること

(2) 三年保育修了兒と然らざるもの(同年令者)との身體的、知的、情緒的及び社會的方面の發達についての比較研究をすること

4 既徑の研究狀況

(1) 三歳兒の使用冊について

(2) 三歳兒の知能

5 獎勵金 四千圓

二 幼稚園の教育課程

1 研究者等

研究者 廣島大學廣島師範學校附屬幼稚園
共同研究者 右 同
主事 地 川 勝 人
教諭 八 坂 富 子
教諭 高 瀬 璃 子

2 研究の目的

幼稚園の新しい教育課程を保育要領の分析や幼兒の發達の
上から構成する。

3 研究の方法

社會の實態調査並びに幼児の發達調査から單元保育を中心とした生活指導の課程と、系統的な行事を含めた日常の生活指導の課程として作製して、知性、社會性、情緒、身體の健全な發達を計らうとする。

4 既往の研究狀況

三原市における社會調査並びに幼児の生活能力調査の研究
獎勵金 四千圓

三 幼稚園並びに小學校低學年における科學教育の研究

1 研究者 東京都北多摩郡 啓明學園初等學校

教諭 栗山 重

2 研究の目的

(1) 幼稚園並びに小學校低學年の理科教育特に科學心を培養して彼等が興味をもつて自發的に學習する態度の養成について研究する

(2) 科學教育より見て、幼稚園と小學校と密接に連絡して能率的な教育法を研究する

3 研究の方法

(1) 子供を實際に指導しつつ、その發達を調査し、何に子供にそくした指導法を工夫する

(2) 幼稚園並びに小學校の先生方と接する機會多き立場として、なるべく先生方と協力して研究する

(3) 母親と會合する機會多き立場として、母親と協力して研究する

4 既往の研究狀況

(1) 小學校一年より理科教育を行なう必要を痛感して、成

蹊學園において一年生から理科を特設實施し、二十餘年連續現在も實際に児童を愛護し研究して、探險資料が豊富である。

(2) 高等保育學校講師として多年教員養成に當り、かつ直接園児の實際保育に當つて研究している。

なおこの研究獎勵金については、幼稚園關係の申請が非常にすくないのは遺憾である。

昭和二十六年度は幼稚園關係者からも數多く申請できるよう今から研究準備をすすめておいてくださるよう希望する次第である。

參考までに昭和二十四年度の幼稚園關係受賞者を附記してみる。

一 幼稚園教育の研究

東京學藝大學附屬幼稚園 主事 中川 武夫

二 就學前後の教育

東京學藝大學東京第三師範學校 池田 芳雄

全國々立大學

附屬幼稚園主事協議會

去六月二十九日(金)午前九時より午後四時まで、東京大學、お茶の水女子大學において、標題の會合が行はれた。協議會話題の中心は、各大學における幼稚園教員養成の現狀並に希望等であつたが結論として左の要望事項を、文部省大學

學術局、同教員養成課を通じて文部大臣に提出した。

一、最低四學級（二年コース二學級、一年コース一學級、三年コース一學級）

二、各府縣國立大學に少くも一附屬幼稚園をおくこと

三、小學校教員免許狀修得希望者（特に女子にあつては）附屬幼稚園においても實習を行うことを原則とすること。

なお當日の出席者は左の如くである

玉越三朗（文部省） 波根治郎（富山大） 阿部安三（大阪學藝大）

鈴木三郎（三重大） 山本喜三（愛知學藝大） 富岡貫一（群馬大） 野

間都夫（埼玉大） 柏倉亮吉（山形大） 田中龍次郎（山梨大） 光館廣

忠（東北大） 鈴木康一（香川大） 岡本一平（高知大） 鈴木信政（靜

岡大） 宮内孝（千葉大） 小川正通（奈良女大） 中川武夫（東京學藝大） 及川ふみ（お茶の水女大）

長崎縣保育會總會並に保育講習會

去八月廿五、廿六の兩日、標題の會合が島原市高等學校において開催され、縣下の幼稚園、保育所より多數參集、盛會を極めた。初日にアウトラインとして稻佐幼稚園長松尾利信氏の童話あり、夕食後島原港前面に散在する小島四十五を數える中を折からの名月の中をモーターボートにて廻遊した。講師並びに演題は左の通り

兒童心理學

リズムの指導

なお、縣保育會長は松岡重博氏、副會長大場久子氏、有浦俊一氏である。

官廳公示連絡事項

免許法施行法第七條の

期限が三年間延長された

さきに（昭和二十五年五月二十三日）教育職員免許法施行法の改正（法律第二〇〇號）のとき、——本紙七月號掲載——免許法施行法第七條（教職經驗年數を尊重して、一定の經驗年數以上勤務した者は、少ない單位の取得で更に上級の特例で免許狀が得られるような特例）——この第七條は教員のみで園長には適用されないことに注意する必要がある——の有効期限が「昭和二十八年三月三十一日」までと決定されたのがこのたびの法律改正で（昭和二十五年八月四日法律第二〇三十四號）で三年間延長されて「昭和三十一年三月三十一日」までとなつた。

この結果幼稚園教員の免許狀を有するとみなされた者（施行法第一條に該當する者で舊免許狀をもつてゐる者）や免許狀の授與を受けることのできる者（施行法第二條に該當する者で學校の卒業その他の者）で昭和三十一年三月三十一日までに次の教職經驗年數と單位をとれば、さらに上級の免許狀が得られるようになったわけである。

めた者であつて、二年以上榮養の實務の見習をした者に限る
五、願書提出期間及び提出場所
昭和二十五年八月二十一から昭和二十五年九月三十日まで
住所地の都道府県衛生部内臨時榮養士試験事務所に到着する
よう提出すること。

六、受験票の交付

受験願書を受理した場合は、その旨本人に通知する。
受験票は昭和二十五年十月二十七日（午前九時から午後四時
まで）に各受験地の都道府県衛生部において右通知書と引き
換えに交付するから、受験者は右の所に出現のうを受験票を
受け取りかつ試験場等を照合すること。

七、試験手数料

二百圓の印紙を用いて、これを試験願書にちよう附すること
八、出願の書類

- 1 受験願書（附表の様左）
- 2 履歴書
- 3 新制高等学校卒業證明書、通常の課程による十二年以上の
學校教育終了證明書、舊制中等學校卒業證明書又は文部大臣
がこれらと同等以上の學力を有すると認めた證明書。
- 4 榮養の學術理論に基づき、榮養士の實務の見習を二年以上し
たことを證明する書類（勤務先の長の證明書）
- 5 寫眞（手札形、臺紙は縦十二浬・横七・五浬とし、出願前
六ヶ月以内に脱帽で撮影したものであつて、その裏面に撮影
年月日及び氏名並びに受験地を記入すること）
- 6 受験願書受理通知のための返信用封筒（切手をちよう附し
かつめて先を明記すること）

九、受験地・住所・氏名等の變更

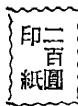
受験願書提出後は、受験地の變更は許さない。
受験願書提出後に住所または氏名を變更した者は、直ちに厚
生省公衆衛生局内榮養士試験事務所（東京都千代田區霞ヶ關二
の二）に届け出ること。

十、試験合格者の發表

昭和二十六年一月三十一日に厚生省公衆衛生局内榮養士試験
事務所及び各都道府県衛生部において發表し合格證書は住所
地の都道府県衛生部を経由して本人に交付する。

附表様式（用紙美濃紙）

榮養士試験受験願



二百圓
印紙

本籍

住所（ふりかなをつけること）

氏名（ふりかなをつけること）

年 月 日生

私儀榮養士試験を受験致したから、履歴書、その他の證明書及び
寫眞を添えお願ひする。

希望受験地（ ）

年 月 日

氏 名 図

厚生大臣

殿

會から

○残暑から秋を迎える好季節、心身健康の時です。われらの仕事もいよ／＼充実して來ます。

○王越氏の論説は、前號について、説くところくわしく、實際保育の指導の要諦の指導して懇切を極めています。新保育指導要領の精義ともい／＼ましようか。

○和田氏の研究は、この種の討究の科學的方法を示し、益々問題の重要性を考えさせると共に、その解決について示そうとするところ大であります。幼児保育者の常に關心をもたなければならぬことです。

○山村氏の報告は、前號小山田氏の報告について、幼稚園、小學校合併研究のワークショップの面目が益々發揮されています。

○岡田氏、内山氏の第四回全保連大會の準備と現場の報告者として、その人を得、あの盛會を極めた大會の光景とその當事者の苦心、紙上に躍如たりです。

○大會といえ、参加者二千を越え、その中には誌友の方々も澤山いられたことと思います。その所感や希望を本誌にお寄せ下されば次回の大會をいよ／＼有意義ならしめるために役立つことが多いでしょう。長崎、雲仙、熊本、阿蘇、大分、別府、遊藝途上の名歌名

吟も亦、大歓迎します。誌友中には風雅のぬしも多いことでしょう。

○小林氏その他の寄稿が雑誌面の都合で割愛になつたことをお詫びします。來號をお約束します。

★ ★ ★ ★ ★

『幼児の教育』編集

編集主任 倉橋惣三

協力委員 牛島義友

及川ふみ

齊藤文雄

多田鐵雄

波多野完治

山下俊郎

(五十音順)

編集委員 西山浪太郎

日本幼稚園協會

幼児の教育 第廿九卷 第十號

定價 金拾拾圓

昭和二十五年十月十五日印刷

昭和二十五年十月二十日發行

東京都中野區千光前町一〇

編集兼 發行所 倉橋惣三

東京都文京區柳町二二番地

印刷所 杉山龜吉

東京都文京區柳町二二番地

印刷所 第一印刷株式會社

東京都文京區大塚町三十五

發行所 日本幼稚園協會

東京都千代田區神田神保町二ノ四

發賣所 株式會社 フレーベル館

電話九段(33)三六七・三七二・三〇三番

振替 東京一九六四〇番

○本誌御購讀について注文申込その他は凡べて發賣所フレイベル館宛に願います

保 育 用 品

自由画帳 定価二〇圓

送料6圓、40冊まで55圓

おさいく帳 定価二三圓

送料6圓、50冊まで55圓

ぬり え 大判定価三〇圓

送料6圓、40冊まで55圓

ぬり え(初級) 定価二五圓

送料6圓、50冊まで55圓

ぬり え(上級) 定価三五圓

日本幼稚園協會編

えとぬり え 定価40圓

送料6圓、40冊まで55圓

御道具箱 定価50圓

送料 5箱まで35圓

折紙 (文部省監給品)

寸色枚 定価二圓二〇錢

5710 送料二〇圓まで三五圓

折紙 寸色枚組 定価二〇圓

4各100 送料50圓まで35圓

折紙 寸色枚組 定価三〇圓

5各100 送料50圓まで35圓

折紙 寸色枚組 定価三〇圓

送料50圓まで35圓

床上積木

大	基尺 8 cm,	容積 32 cm ³	定価 1800 圓	千 350 圓
中	基尺 6 cm,	容積 25 cm ³	定価 1500 圓	千 250 圓
小	基尺 3 cm,	容積 12 cm ³	定価 450 圓	千 35 圓

一箱の積木數約 90 箇。形は、基本的の形を網羅して居ります。

砂場用具

砂 型 (4 種入り 100 圓, 千 35 圓)
 シヤベル (20圓 千30ケまで35圓)
 バケツ (60圓 千8ケまで35圓)
 ふるい (60圓 千15ケまで35圓)
 トンネル (70圓 千3ケ'35圓) 汽 車 (80圓千10ケまで35圓)
 自動車 (50圓 千10ケ'35圓) 客 車 (80圓千8ケまで35圓)

紙芝居

定価 250 圓, 袋入り, 千 35 圓
 第1集 みみちやんとおおかみ
 第2集 どの子がいい子
 第3集 お母さんはどこえ
 第4集 親 指 姫

運動遊具

(圖・解説入りカタログ進呈)

ジャングルジム, 滑り臺, ブランコ, 置きブランコ, 波動回転塔, 共同ジャングル, 大こ梯子, メリーゴーラウンド, 廻てん椅子, 等です。

発行所

千代田區神田
神保町2の4

フレール館保育用品株式会社

板替口座
東京 38171

観 察 繪 本

キンダーブック

KINDER-BOOK

キンダーブックのフレーベル、フレーベルのキンダーブック—この繪本は餘りにも有名です。發刊以來既に通卷 250 號を發行し、全國の各幼稚園保育所をはじめ、健全な家庭から、學齡前の幼兒に無條件に與へられる代表的な繪本として積々の好評を載いてをります。先頃連合軍總司令部CIEより發表ありましたものゝ中にも、アメリカにおいても類誌のない獨自のものであるとの御言葉がありました。企畫、編集、用紙、着色、製本凡ゆる面に不斷の精進をつづけ、號は號を追つて益々良いものを世に送りたいと努力してをります。次代の日本を背負う愛兒のためのこよなき心の糧であります。

B 5 判・16 頁・月 1 回發行・定價 30 圓・送料 3 圓

新 刊

實用保育遊戯 第一集

實 來 琢 磨 著

B 5 判 七〇頁 上製美本 一八〇圓 下 一二圓
 保育遊戯の研究と實地指導のために二十餘年の經驗をもち更にその生涯をそのために捧げる著者が、保育遊戯の指導課程に基いて研究された教材集、近く示される「音楽とリズム」についての指導方針を理解する上にもこよなき参考書である。

人形芝居脚本集

倉 橋 惣 三 序
 德 池 久 著

B 6 判 一八〇頁 上製 一五〇圓 下 一二圓
 △人形芝居の保育價值については今更のべるまでもない。本書は先に出版され噴々の好評を博した舊版同書の増補改訂版である。正に人形芝居シナリオの定本といふべきもの。

幼稚園お話集 上・下

倉 橋 惣 三 編
 日本幼稚園協會編

A 5 判 二〇〇頁 美本上製 各二〇〇圓 下 一二圓
 △これまた「お話集」の定本といはれた舊判の増補改訂版である。ほとんど全部にわたつて改訂増補をこころみ光茫いやます好著となつた。

加除式 幼稚園關係法令通達便覽

幼稚園制度研究会編

幼稚園一覽 附幼稚園教員養成所一覽 幼稚園のつくり方他二項

幼稚園制度研究会編

發 行 所

東京都千代田區神田
 神保町二丁目四番地

株式會社

フレーベル館

東京座口番 振
 番 一 九 六 四 〇 番